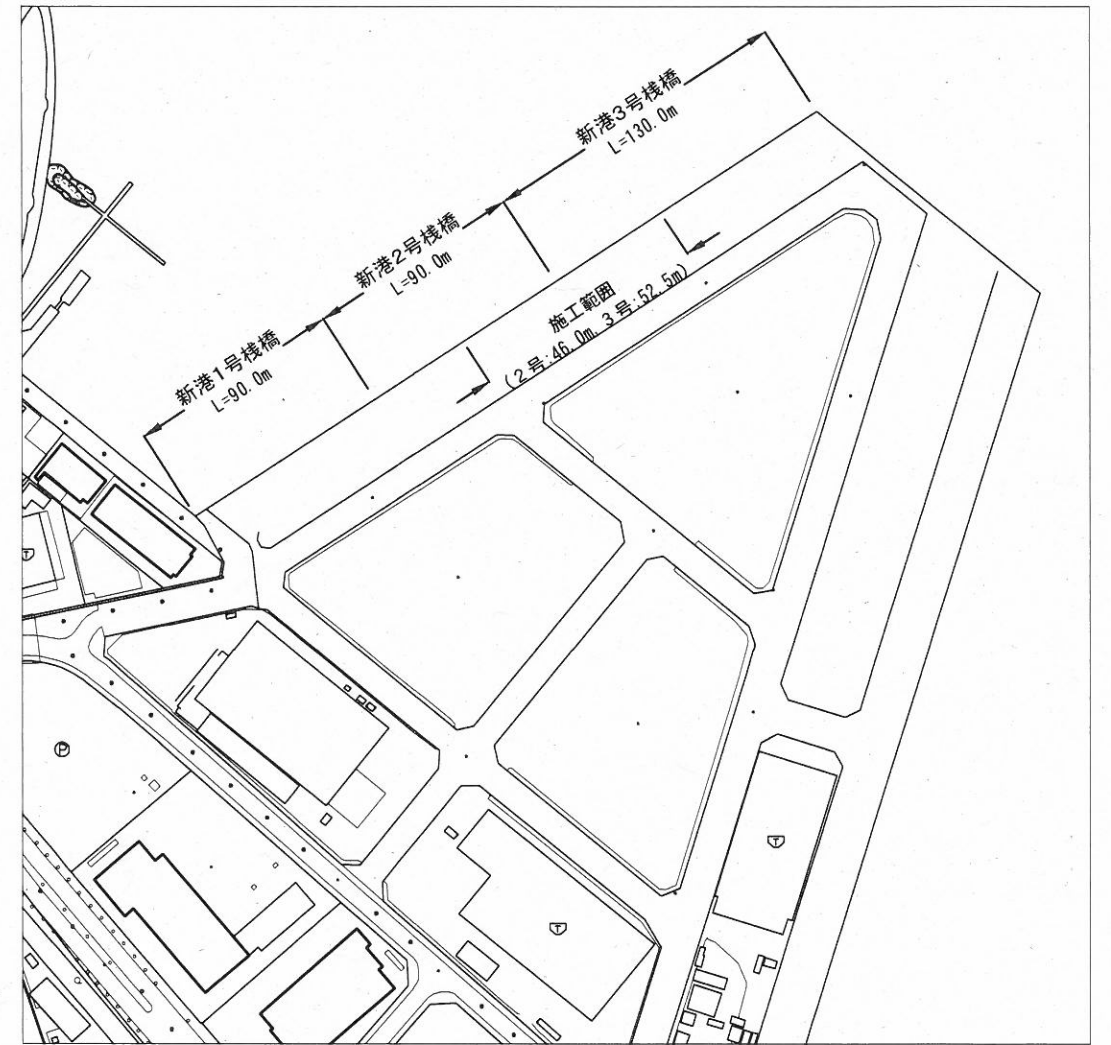
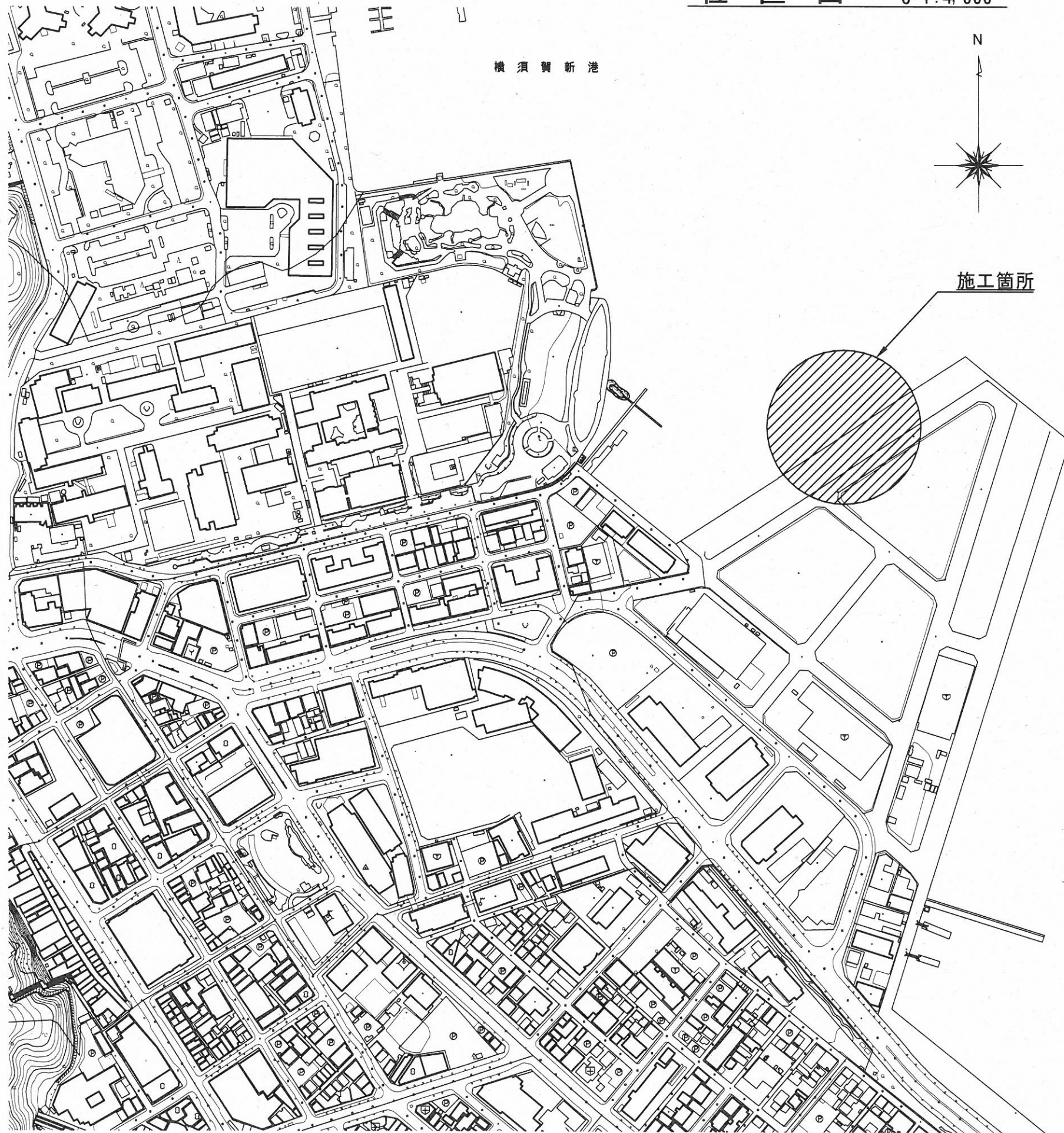


設 計 図

工事名称	令和3年度新港地区新港2,3号棧橋改良工事		
図面名称	図面一式	縮尺	各記
課長		係長	設計
令和4年2月設計		図面番号	17枚の内1
横須賀市みなと振興部港湾整備課			

位置図 S=1:4,000

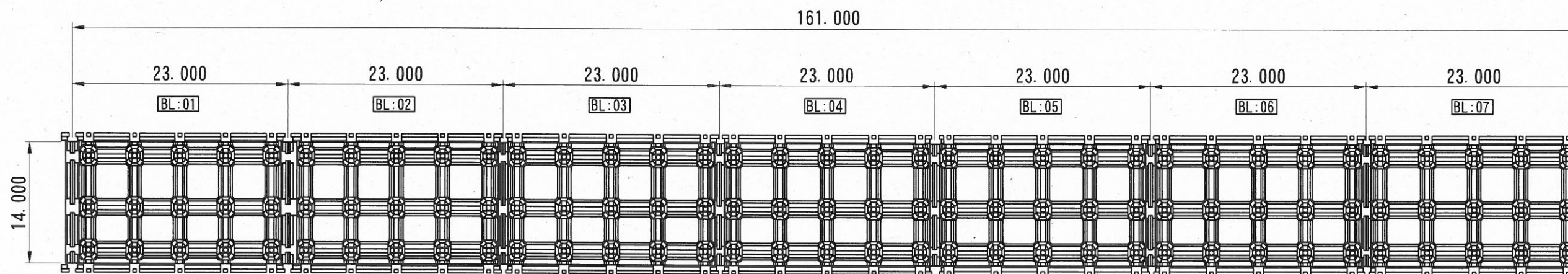


横須賀港新港地区

工事名称	令和3年度新港地区新港2、3号棧橋改良工事		
図面名称	位置図		
図面番号	17枚の内2	縮尺	1/4,000

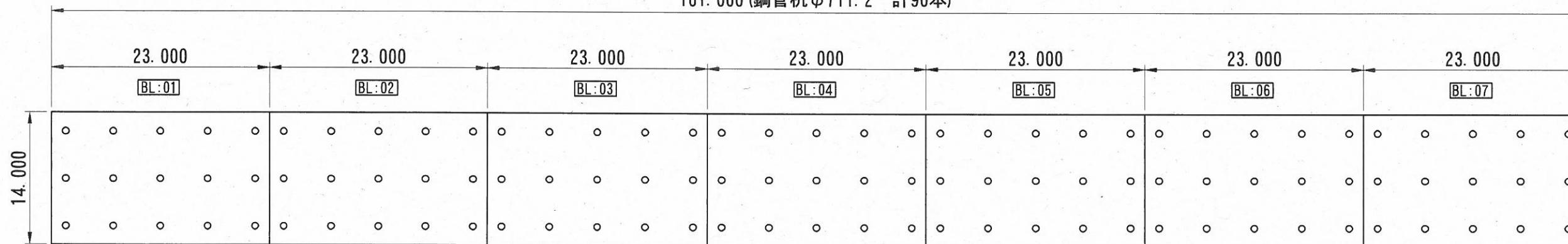
新港 1, 2号栈橋平面図 S=1:500 u:m

上部工 (下面部) ・ 下部工 (被覆防食部)



下部工 (鋼管杭部)

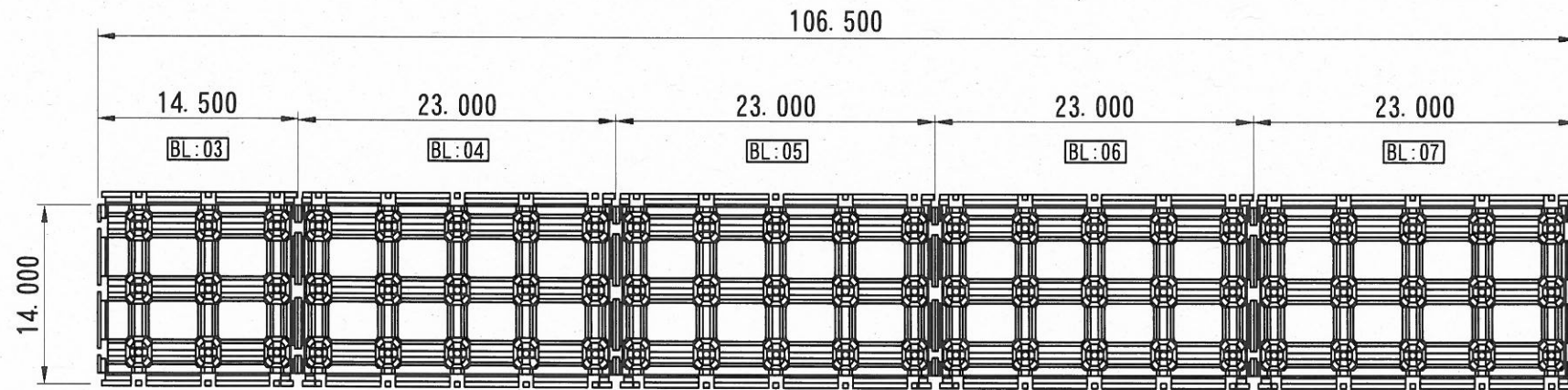
161.000 (鋼管杭φ711.2 計90本)



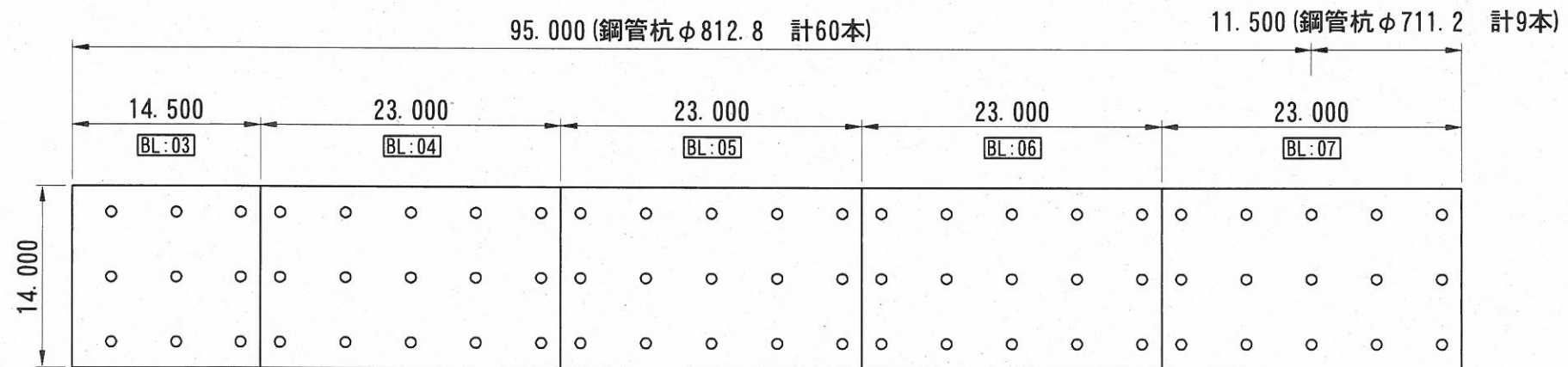
工事名称	令和3年度新港地区新港2, 3号栈橋改良工事		
図面名称	新港1, 2号栈橋平面図		
図面番号	17枚の内3	縮尺	1/500

新港 3 号栈橋平面図 S=1:500 u;m

上部工 (下面部) ・ 下部工 (被覆防食部)

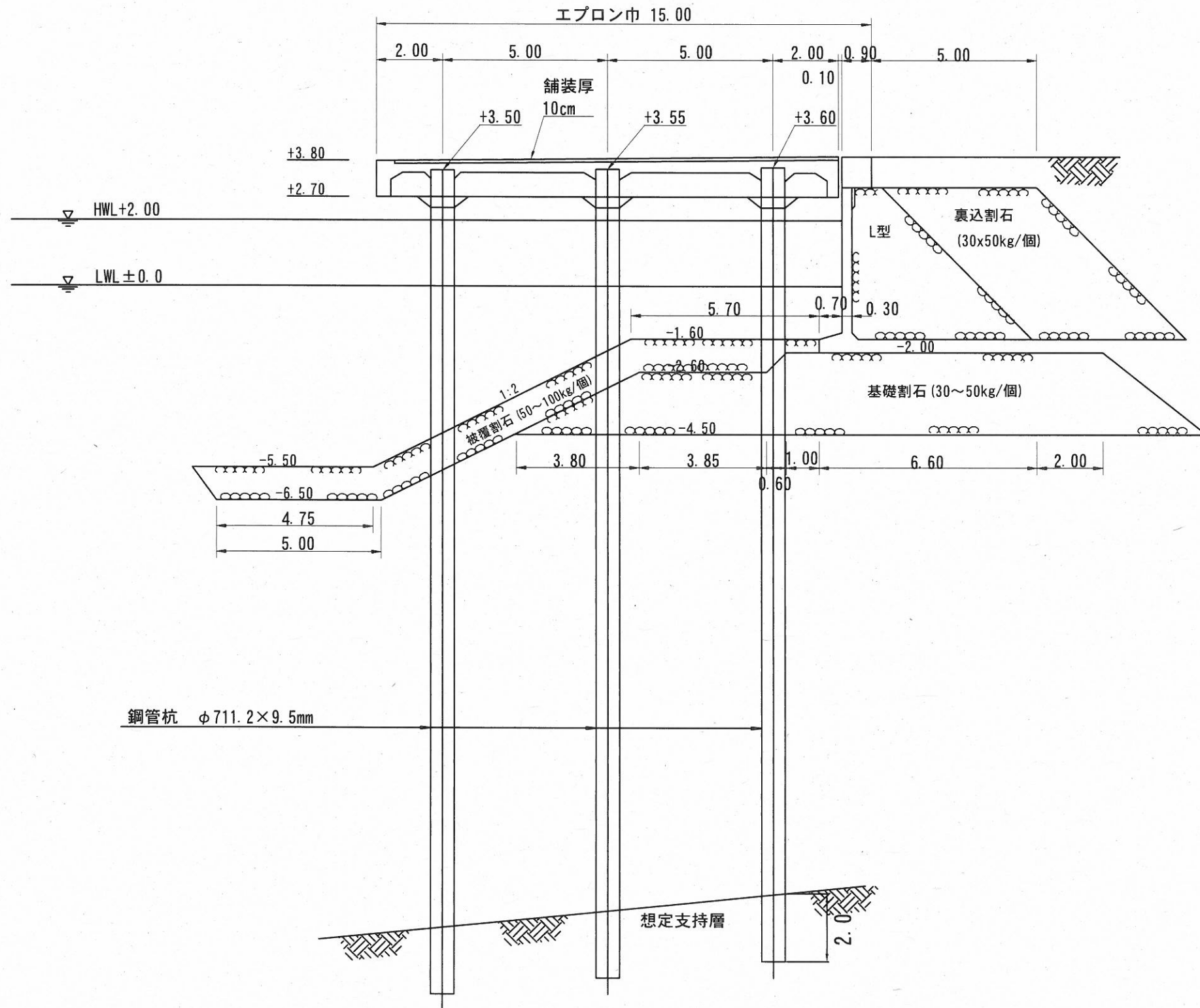


下部工 (鋼管杭部)



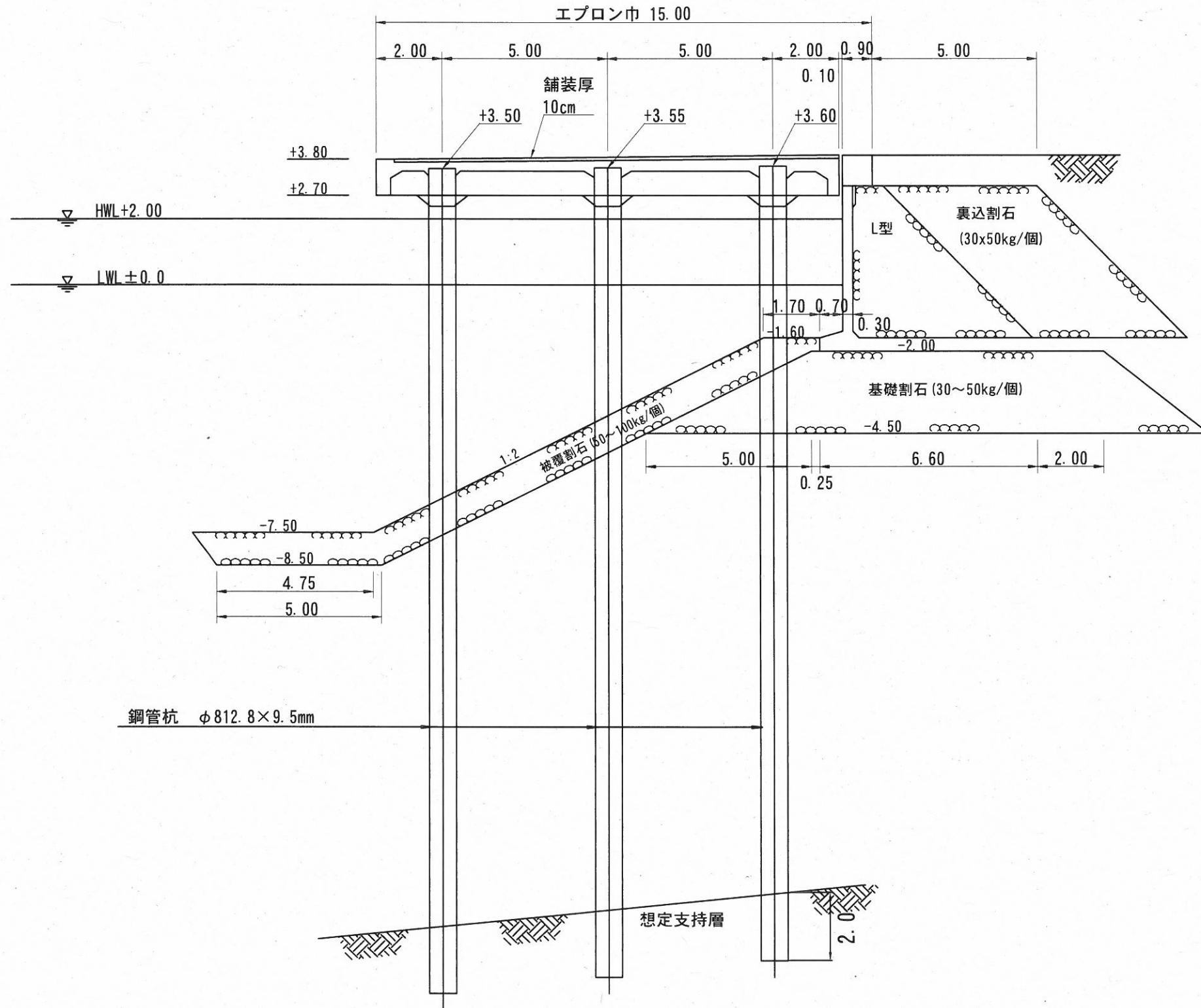
工事名称	令和3年度新港地区新港2, 3号栈橋改良工事		
図面名称	新港 3 号栈橋平面図		
図面番号	17枚の内4	縮 尺	1/500

新港 1, 2号棧橋標準断面図 S=1:150 u;m



工事名称	令和3年度新港地区新港2, 3号棧橋改良工事		
図面名称	新港 1, 2号棧橋標準断面図		
図面番号	17枚の内5	縮尺	1/150

新港 3 号栈橋標準断面図 S=1:150 u:m

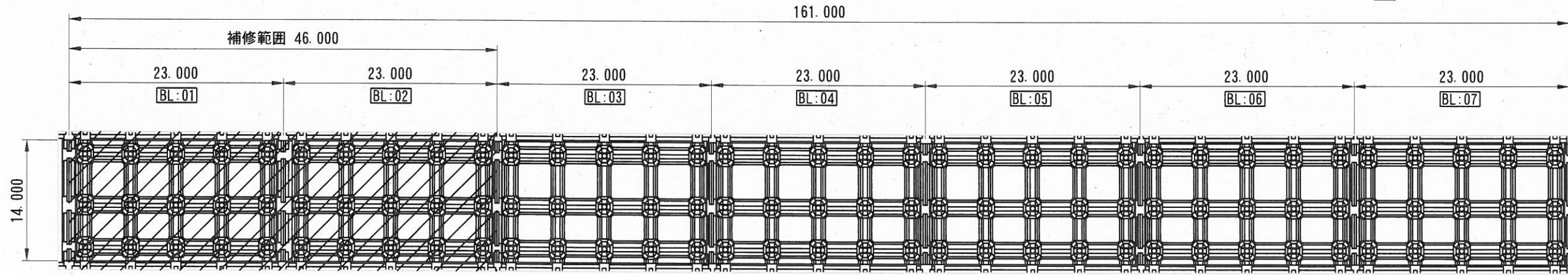


工事名称	令和3年度新港地区新港2, 3号栈橋改良工事		
図面名称	新港 3 号栈橋標準断面図		
図面番号	17枚の内6	縮尺	1/150

新港 1, 2号栈橋上部工(下面部)補修図

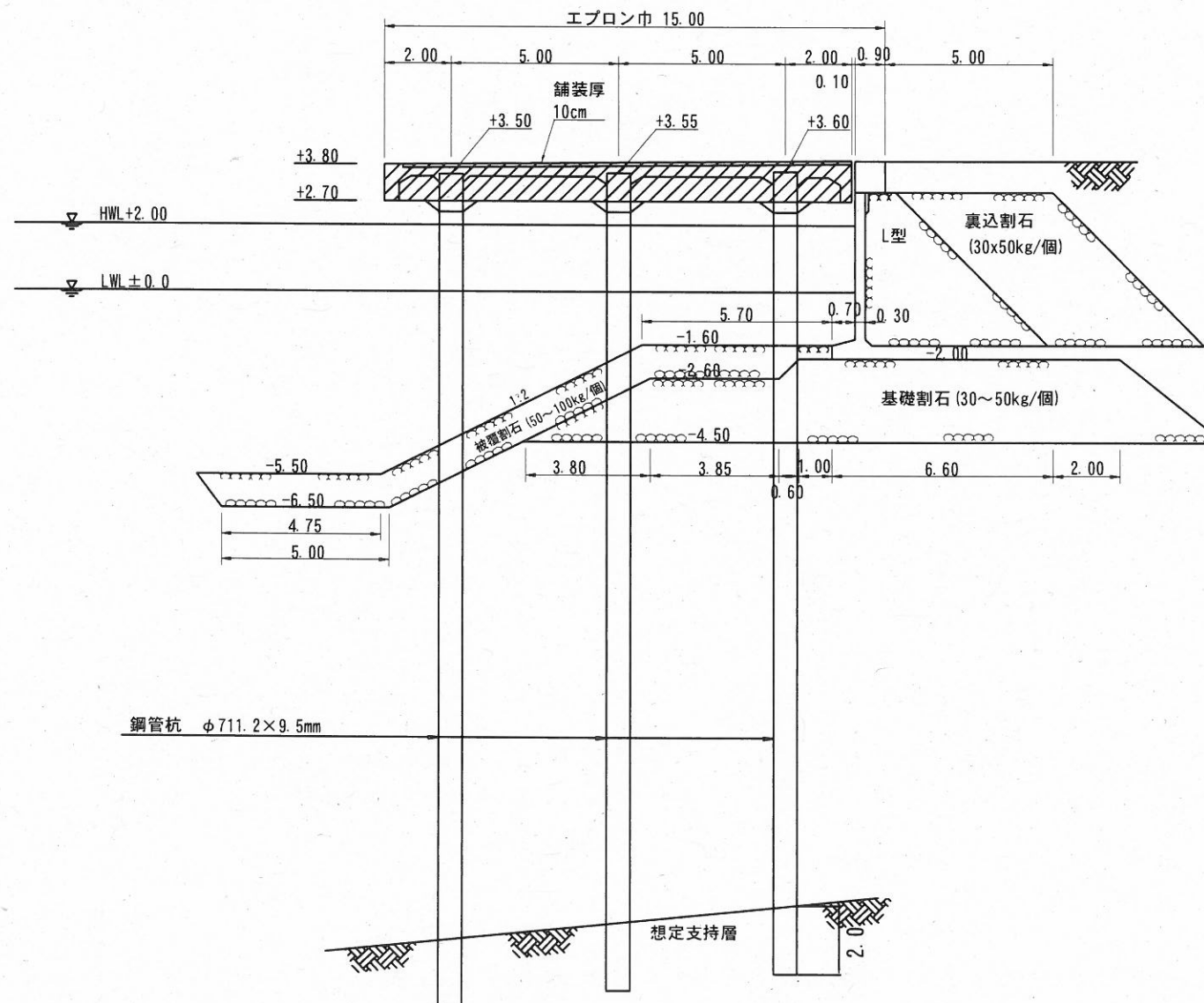
上部工(下面部) 平面図 S=1:500 u:m

▨: 補修範囲(断面修復工)



標準断面図 S=1:200 u:m

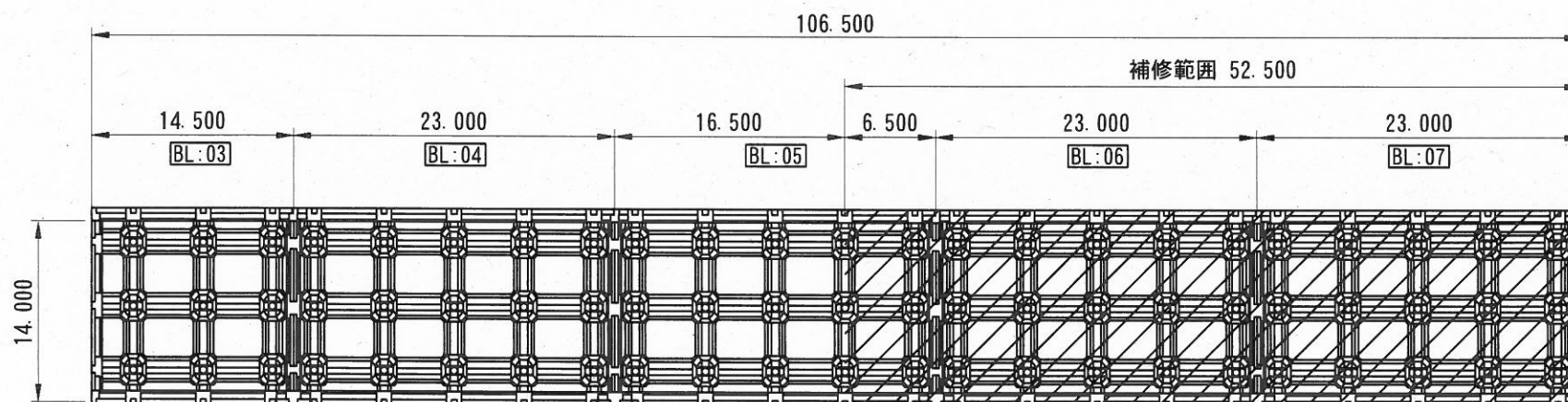
▨: 補修範囲(断面修復工)



工事名称	令和3年度新港地区新港2, 3号栈橋改良工事		
図面名称	新港 1, 2号栈橋上部工(下面部)補修図		
図面番号	17枚の内7	縮尺	図示

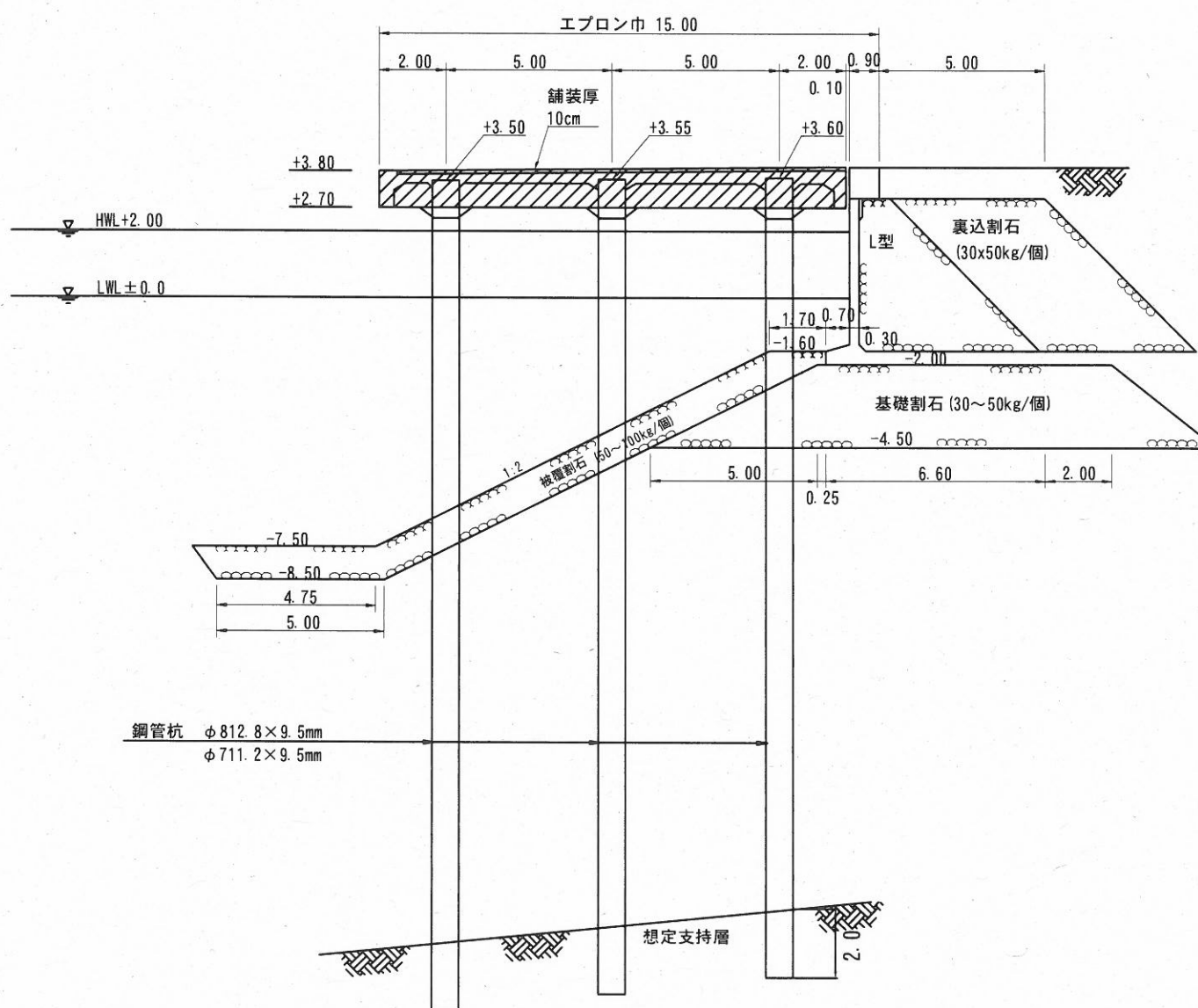
新港3号栈橋上部工(下面部)補修図

上部工(下面部) 平面図 S=1:500 u:m



▨: 補修範囲(断面修復工)

標準断面図 S=1:200 u:m

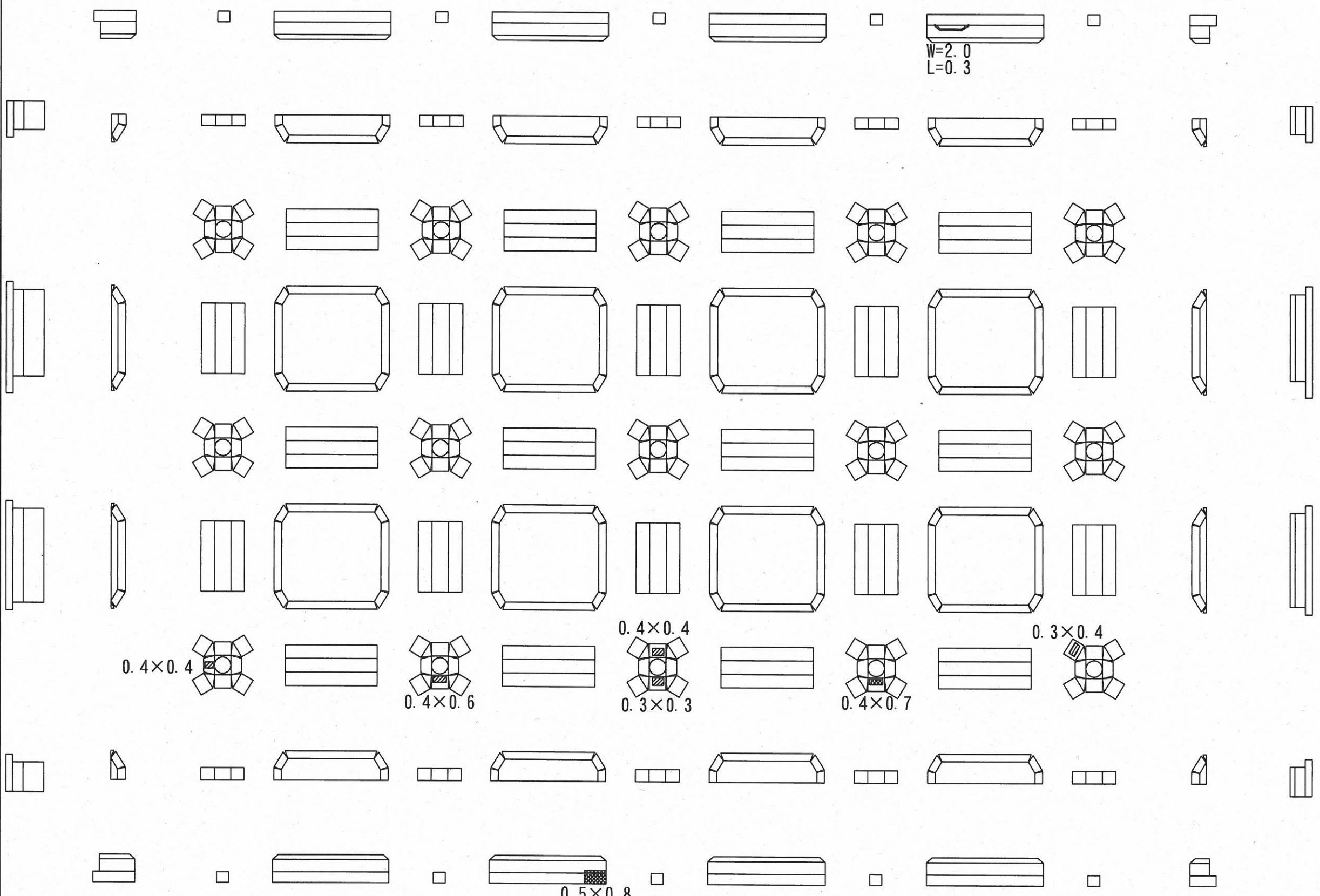


▨: 補修範囲(断面修復工)

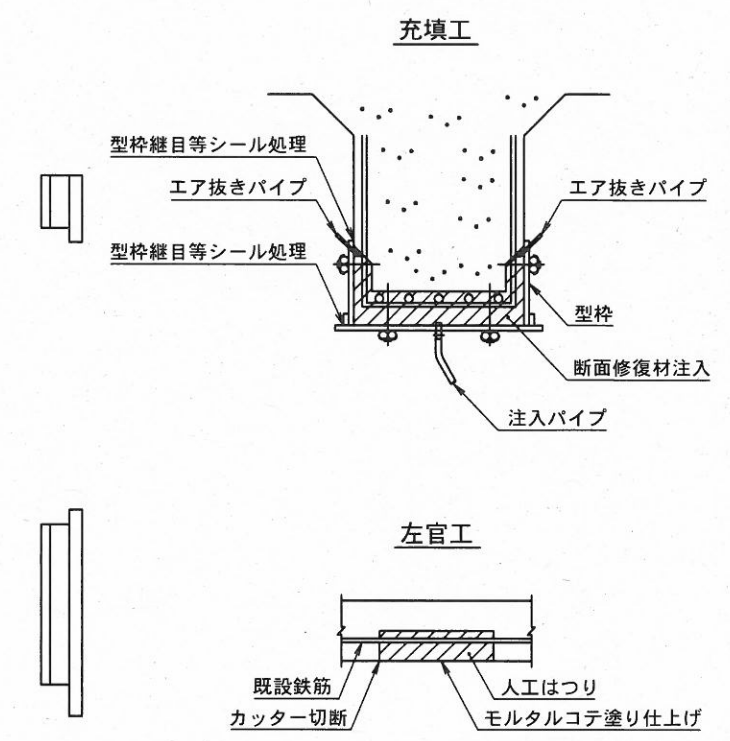
工事名称	令和3年度新港地区新港2, 3号栈橋改良工事		
図面名称	新港3号栈橋上部工(下面部)補修図		
図面番号	17枚の内8	縮尺	図示

新港 1, 2号栈橋上部工(下面部)補修展開図 S=1:150

BL:01



断面修復



一般的な断面修復材の品質規格値

項目	品質規格値	試験方法
圧縮強度	30.0N/mm ² 以上	JIS A 1108
曲げ強度	3.0N/mm ² 以上	JIS A 1106
乾燥収縮率	20×10 ⁻⁴ 以下(3ヶ月)	JIS A 1129
ブリージング率	1.0%以下	土木学会規準
水和熱	できるだけ小さいこと	
耐海水性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	
温冷繰り返し抵抗性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	日本道路公団方式
付着強度(標準養生後)	1.5N/mm ² 以上	建研式付着力試験
塩化物イオン拡散係数	できるだけ小さいこと	

補修数量表

損傷	補修方法	工法	深さ(m)	表示	数量(箇所)	面積(m ²)	体積(m ³)	長さ(m)
浮き・剥落 鉄筋露出	大断面修復	充填工	0.100		2	0.68	0.068	
	小断面修復	左官工	0.100		5	0.77	0.077	

工種	単位	数量
コンクリート研り・殻運搬	m ²	0.145
鉄筋除錆	m ²	1.45

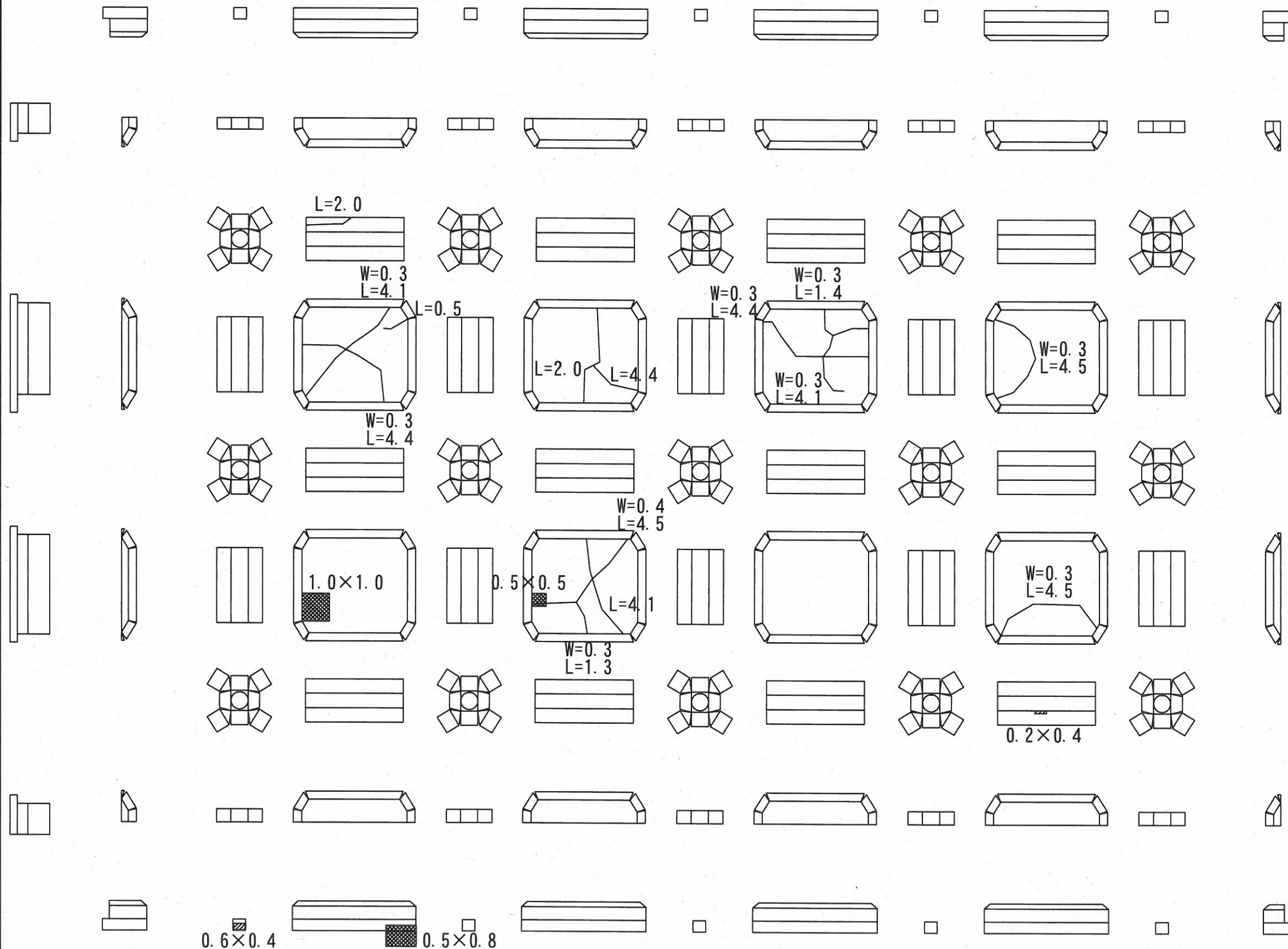
※鉄筋除錆は研り表面積を計上

- 注1) 施工時は現場損傷状況を確認し施工すること。
- 注2) 断面修復範囲は目視調査により確認した劣化範囲であり、劣化数量に変動があった場合は、監督員と協議の上決定すること。
- 注3) 断面修復材は性能照査を満たし、乾燥収縮ひび割れ対策に配慮した材料を用いること。
- 注4) 研り深さは10cmとするが、支障物を除去する深さにより変更することもある。

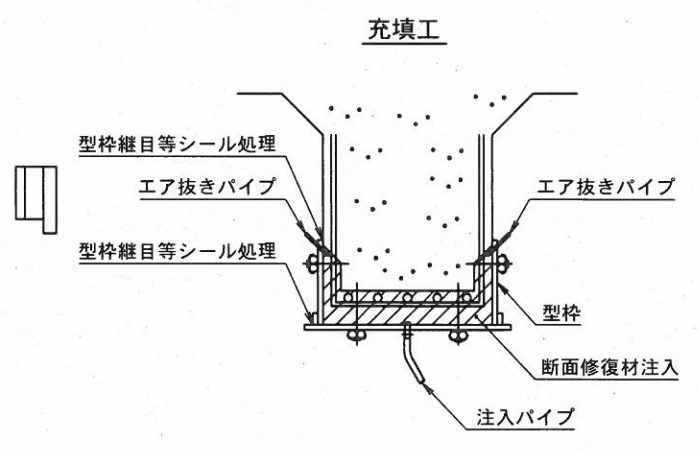
工事名称	令和3年度新港地区新港2, 3号栈橋改良工事
図面名称	新港 1, 2号栈橋上部工(下面部)補修展開図
図面番号	17枚の内9 縮尺 1/150

新港1, 2号栈橋上部工(下面部)補修展開図 S=1:150

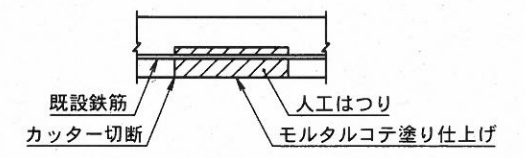
BL:02



断面修復



左官工



一般的な断面修復材の品質規格値

項目	品質規格値	試験方法
圧縮強度	30.0N/mm ² 以上	JIS A 1108
曲げ強度	3.0N/mm ² 以上	JIS A 1106
乾燥収縮率	20×10 ⁻⁴ 以下 (3ヶ月)	JIS A 1129
ブリージング率	1.0%以下	土木学会規準
水和熱	できるだけ小さいこと	
耐海水性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	
温冷繰り返し抵抗性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	日本道路公団方式
付着強度 (標準養生後)	1.5N/mm ² 以上	建研式付着力試験
塩化物イオン拡散係数	できるだけ小さいこと	

補修数量表

損傷	補修方法	工法	深さ (m)	表示	数量 (箇所)	面積 (m ²)	体積 (m ³)	長さ (m)
浮き・剥落 鉄筋露出	大断面修復	充填工	0.100		3	1.65	0.165	
	小断面修復	左官工	0.100		2	0.32	0.032	

工種	単位	数量
コンクリート研り・殻運搬	m ²	0.197
鉄筋除錆	m ²	1.97

※鉄筋除錆は研り表面積を計上

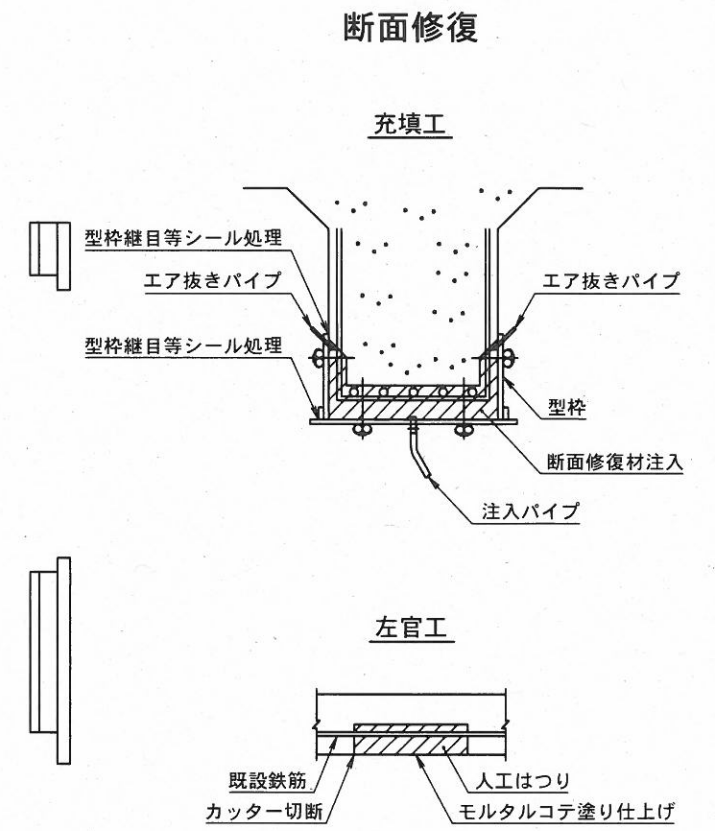
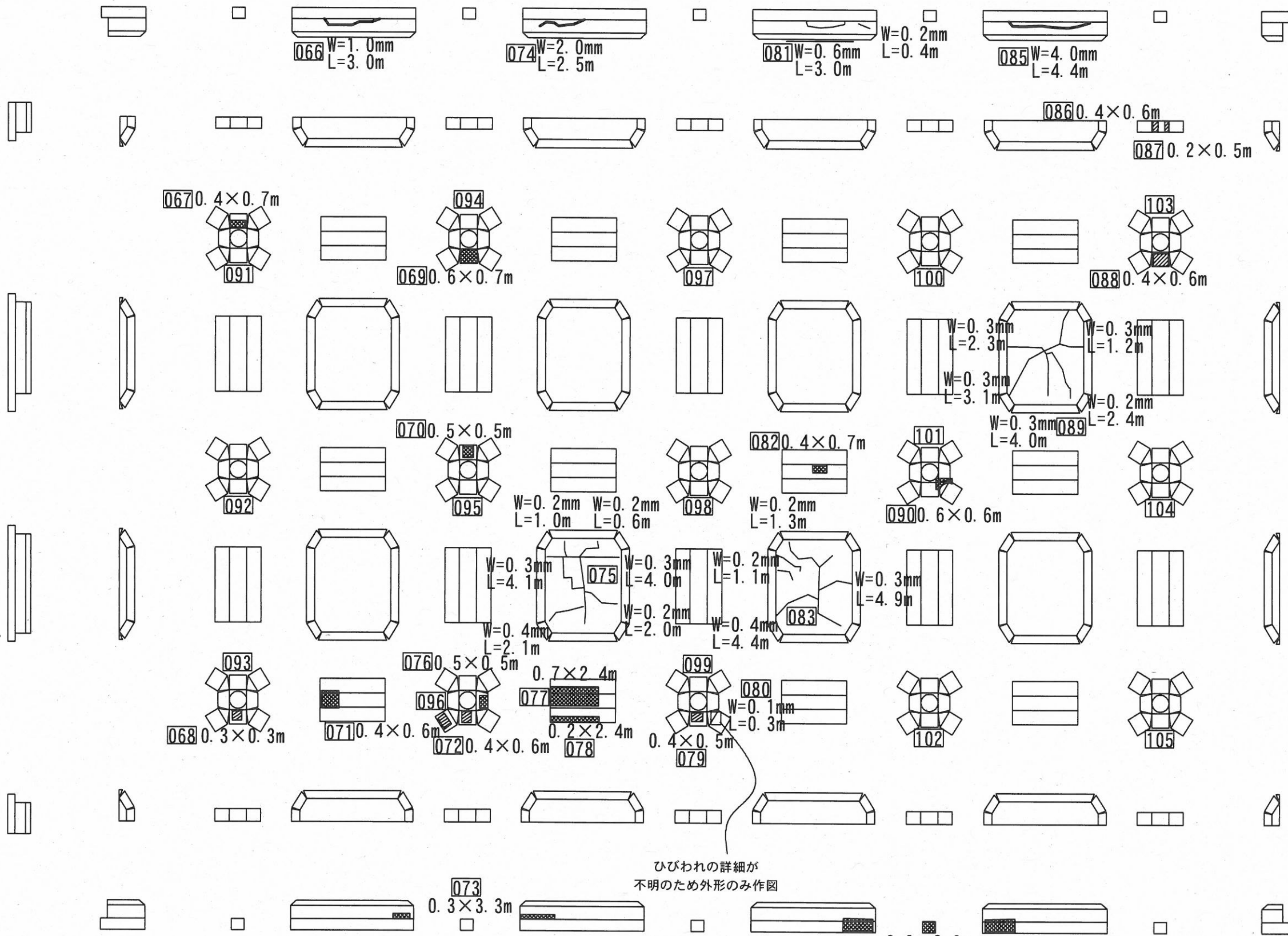
- 注1) 施工時は現場損傷状況を確認し施工すること。
- 注2) 断面修復範囲は目視調査により確認した劣化範囲であり、劣化数量に変動があった場合は、監督員と協議の上決定すること。
- 注3) 断面修復材は性能照査を満たし、乾燥収縮ひび割れ対策に配慮した材料を用いること。
- 注4) 研り深さは10cmとするが、支障物を除去する深さにより変更することもある。

工事名称	令和3年度新港地区新港2, 3号栈橋改良工事
図面名称	新港1, 2号栈橋上部工(下面部)補修展開図
図面番号	17枚の内10 縮尺 1/150

新港3号栈橋上部工(下面部)補修展開図

S=1:150

BL:05



一般的な断面修復材の品質規格値

項目	品質規格値	試験方法
圧縮強度	30.0N/mm ² 以上	JIS A 1108
曲げ強度	3.0N/mm ² 以上	JIS A 1106
乾燥収縮率	20×10 ⁻⁴ 以下 (3ヶ月)	JIS A 1129
ブリージング率	1.0%以下	土木学会規準
水和熱	できるだけ小さいこと	
耐海水性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	
温冷繰り返し抵抗性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	日本道路公団方式
付着強度(標準養生後)	1.5N/mm ² 以上	建研式付着力試験
塩化物イオン拡散係数	できるだけ小さいこと	

補修数量表

損傷	補修方法	工法	深さ(m)	表示	数量(箇所)	面積(m ²)	体積(m ³)	長さ(m)
浮き・剥落 鉄筋露出	大断面修復	充填工	0.100	☒	0	0.00	0.000	
	小断面修復	左官工	0.100	▨	3	0.58	0.058	

工種	単位	数量
コンクリート研り・殻運搬	m ²	0.058
鉄筋除錆	m	0.58

※鉄筋除錆は研り表面積を計上
 ※補修範囲は左側の鋼管杭から4列目より右側の範囲とする。
 (0.4m×0.6m、0.2m×0.5m、0.4m×0.6m)

- 注1) 施工時は現場損傷状況を確認し施工すること。
- 注2) 断面修復範囲は目視調査により確認した劣化範囲であり、劣化数量に変動があった場合は、監督員と協議の上決定すること。
- 注3) 断面修復材は性能照査を満し、乾燥収縮ひび割れ対策に配慮した材料を用いること。
- 注4) 研り深さは10cmとするが、支障物を除去する深さにより変更することもある。

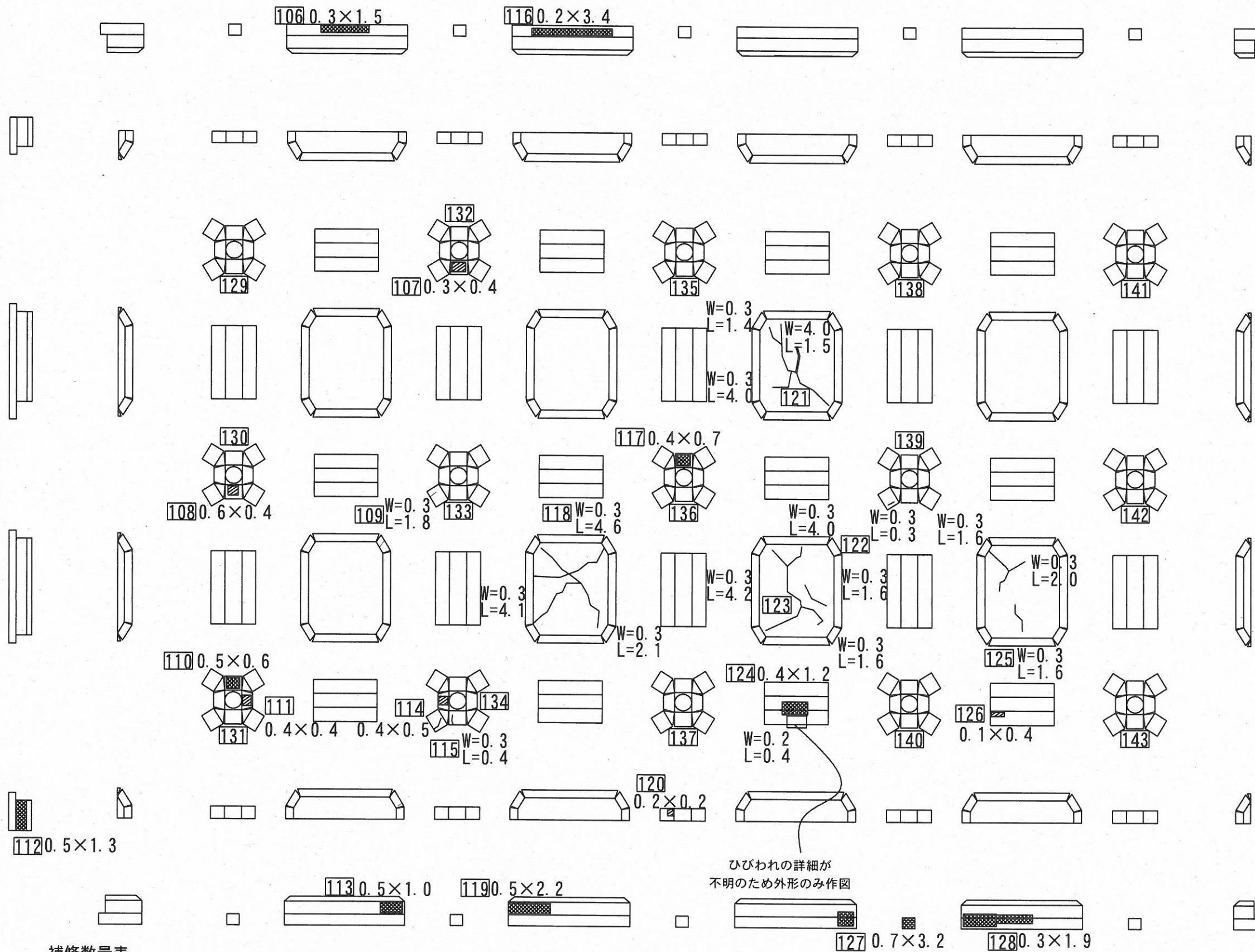
工事名称	令和3年度新港地区新港2, 3号栈橋改良工事
図面名称	新港3号栈橋上部工(下面部)補修展開図
図面番号	17枚の内11 縮尺 1/150

ひびわれの詳細が不明のため外形のみ作図

新港3号栈橋上部工(下面部)補修展開図

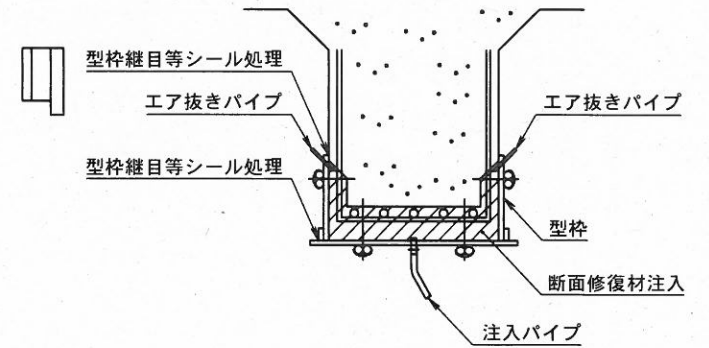
S=1:150

BL:06

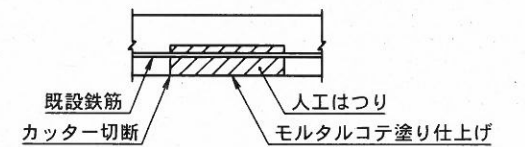


断面修復

充填工



左官工



一般的な断面修復材の品質規格値

項目	品質規格値	試験方法
圧縮強度	30.0N/mm ² 以上	JIS A 1108
曲げ強度	3.0N/mm ² 以上	JIS A 1106
乾燥収縮率	20×10 ⁻⁴ 以下(3ヶ月)	JIS A 1129
ブリージング率	1.0%以下	土木学会規準
水和熱	できるだけ小さいこと	
耐海水性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	
温冷繰り返し抵抗性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	日本道路公団方式
付着強度(標準養生後)	1.5N/mm ² 以上	建研式付着力試験
塩化物イオン拡散係数	できるだけ小さいこと	

補修数量表

損傷	補修方法	工法	深さ(m)	表示	数量(箇所)	面積(m ²)	体積(m ³)	長さ(m)
浮き・剥落 鉄筋露出	大断面修復	充填工	0.100		10	7.25	0.725	
	小断面修復	左官工	0.100		6	0.80	0.080	

工種	単位	数量
コンクリート研り・殻運搬	m ²	0.805
鉄筋除錆	m ²	8.05

※鉄筋除錆は研り表面積を計上

注1) 施工時は現場損傷状況を確認し施工すること。

注2) 断面修復範囲は目視調査により確認した劣化範囲であり、劣化数量に変動があった場合は、監督員と協議の上決定すること。

注3) 断面修復材は性能照査を満し、乾燥収縮ひび割れ対策に配慮した材料を用いること。

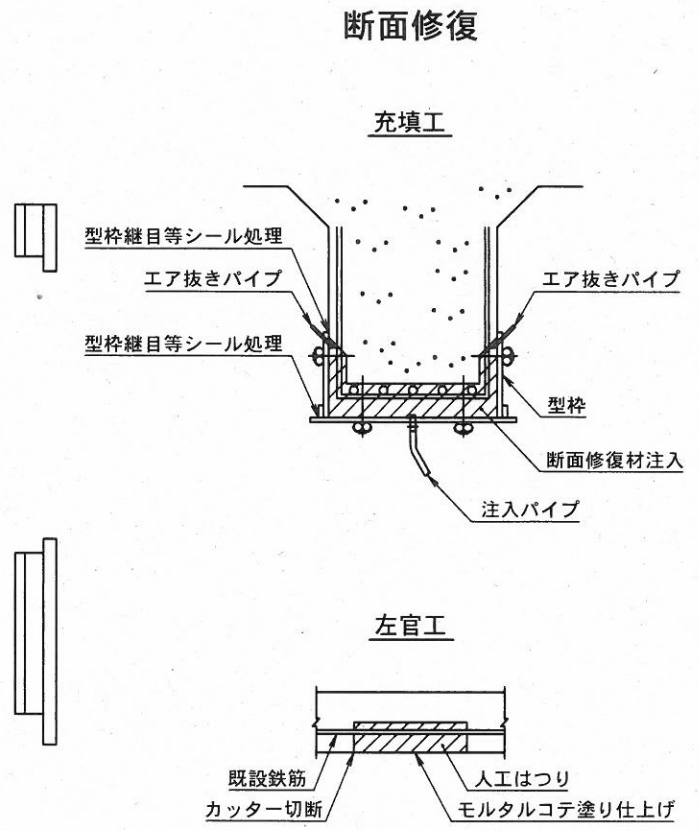
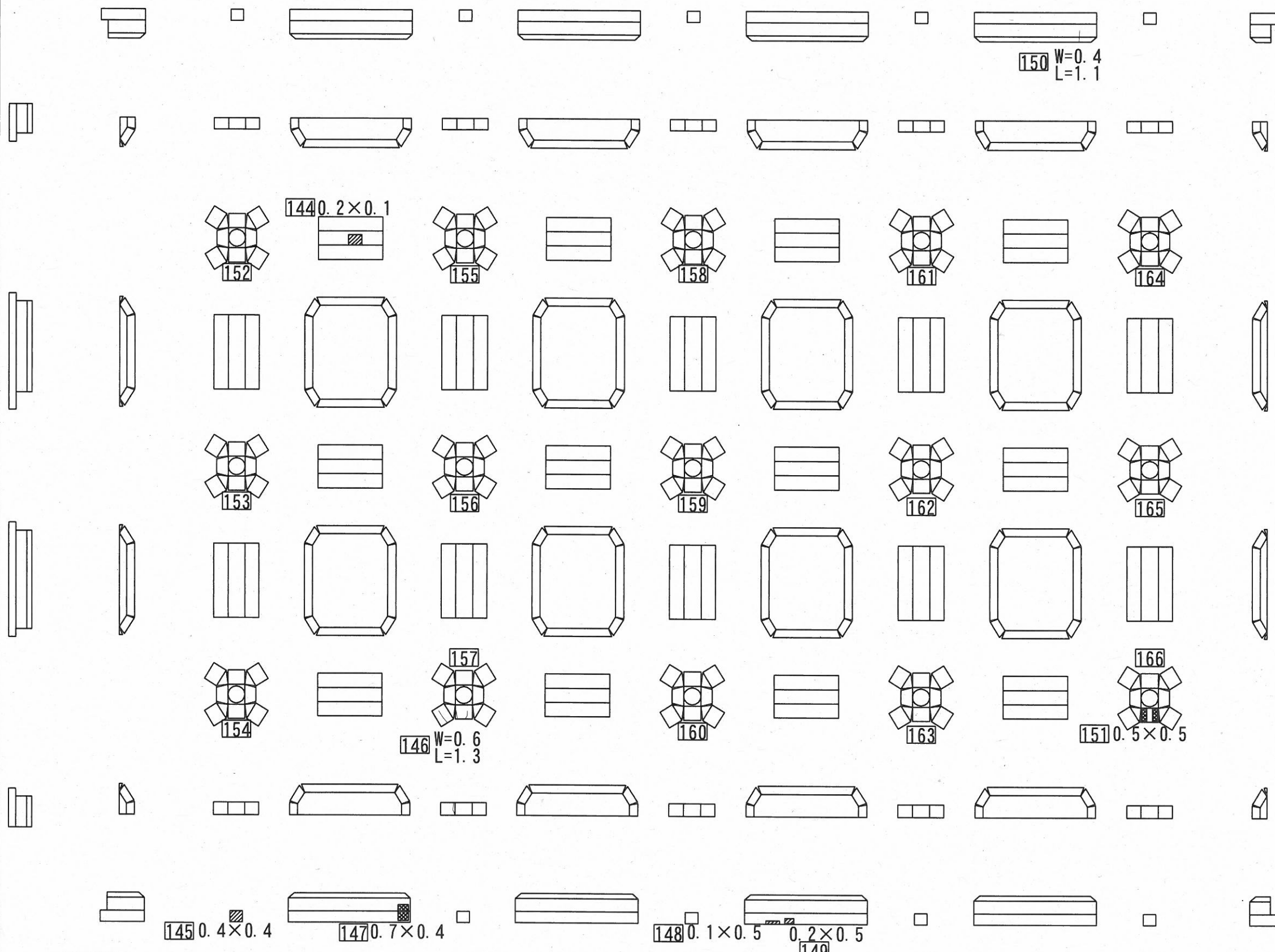
注4) 研り深さは10cmとするが、支障物を除去する深さにより変更することもある。

工事名称	令和3年度新港地区新港2, 3号栈橋改良工事		
図面名称	新港3号栈橋上部工(下面部)補修展開図		
図面番号	17枚の内12	縮尺	1/150

新港3号栈橋上部工(下面部)補修展開図

S=1:150

BL:07



一般的な断面修復材の品質規格値

項目	品質規格値	試験方法
圧縮強度	30.0N/mm ² 以上	JIS A 1108
曲げ強度	3.0N/mm ² 以上	JIS A 1106
乾燥収縮率	20×10 ⁻⁴ 以下(3ヶ月)	JIS A 1129
ブリージング率	1.0%以下	土木学会規準
水和熱	できるだけ小さいこと	
耐海水性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	
温冷繰り返し抵抗性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	日本道路公団方式
付着強度(標準養生後)	1.5N/mm ² 以上	建研式付着力試験
塩化物イオン拡散係数	できるだけ小さいこと	

補修数量表

損傷	補修方法	工法	深さ(m)	表示	数量(箇所)	面積(m ²)	体積(m ³)	長さ(m)
浮き・剥落 鉄筋露出	大断面修復	充填工	0.100		2	0.53	0.053	
	小断面修復	左官工	0.100		4	0.33	0.033	

工種	単位	数量
コンクリート研り・殻運搬	m ²	0.086
鉄筋除錆	m	0.86

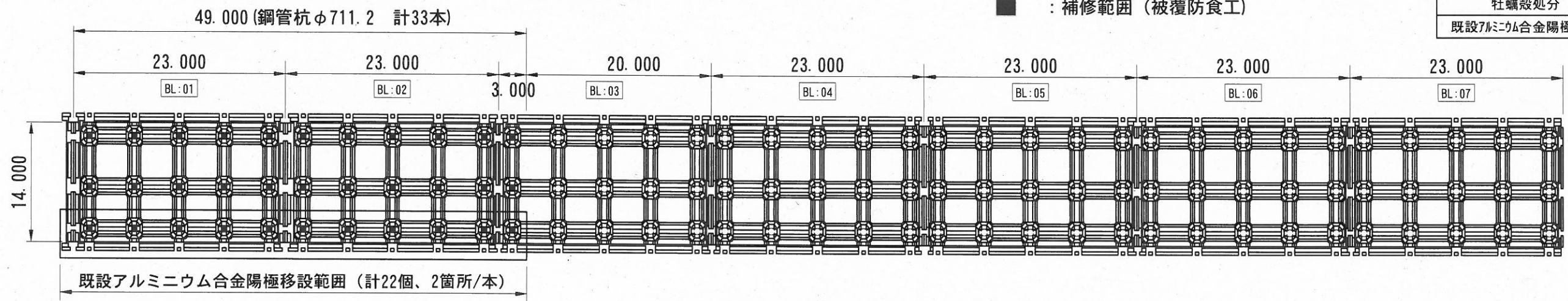
※鉄筋除錆は研り表面積を計上

- 注1) 施工時は現場損傷状況を確認し施工すること。
- 注2) 断面修復範囲は目視調査により確認した劣化範囲であり、劣化数量に変動があった場合は、監督員と協議の上決定すること。
- 注3) 断面修復材は性能照査を満し、乾燥収縮ひび割れ対策に配慮した材料を用いること。
- 注4) 研り深さは10cmとするが、支障物を除去する深さにより変更することもある。

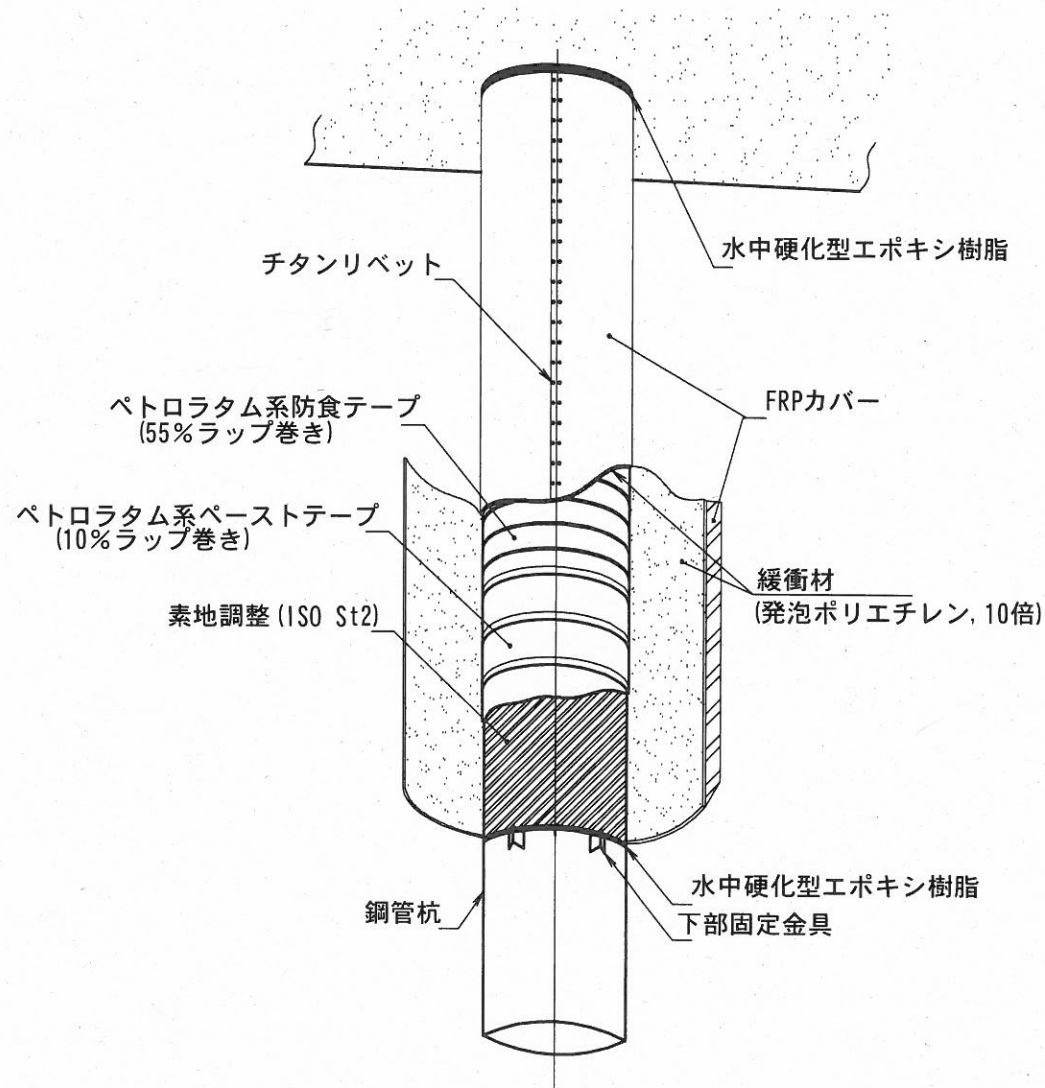
工事名称	令和3年度新港地区新港2, 3号栈橋改良工事		
図面名称	新港3号栈橋上部工(下面部)補修展開図		
図面番号	17枚の内13	縮尺	1/150

新港1, 2号栈橋下部工(被覆防食部)補修図

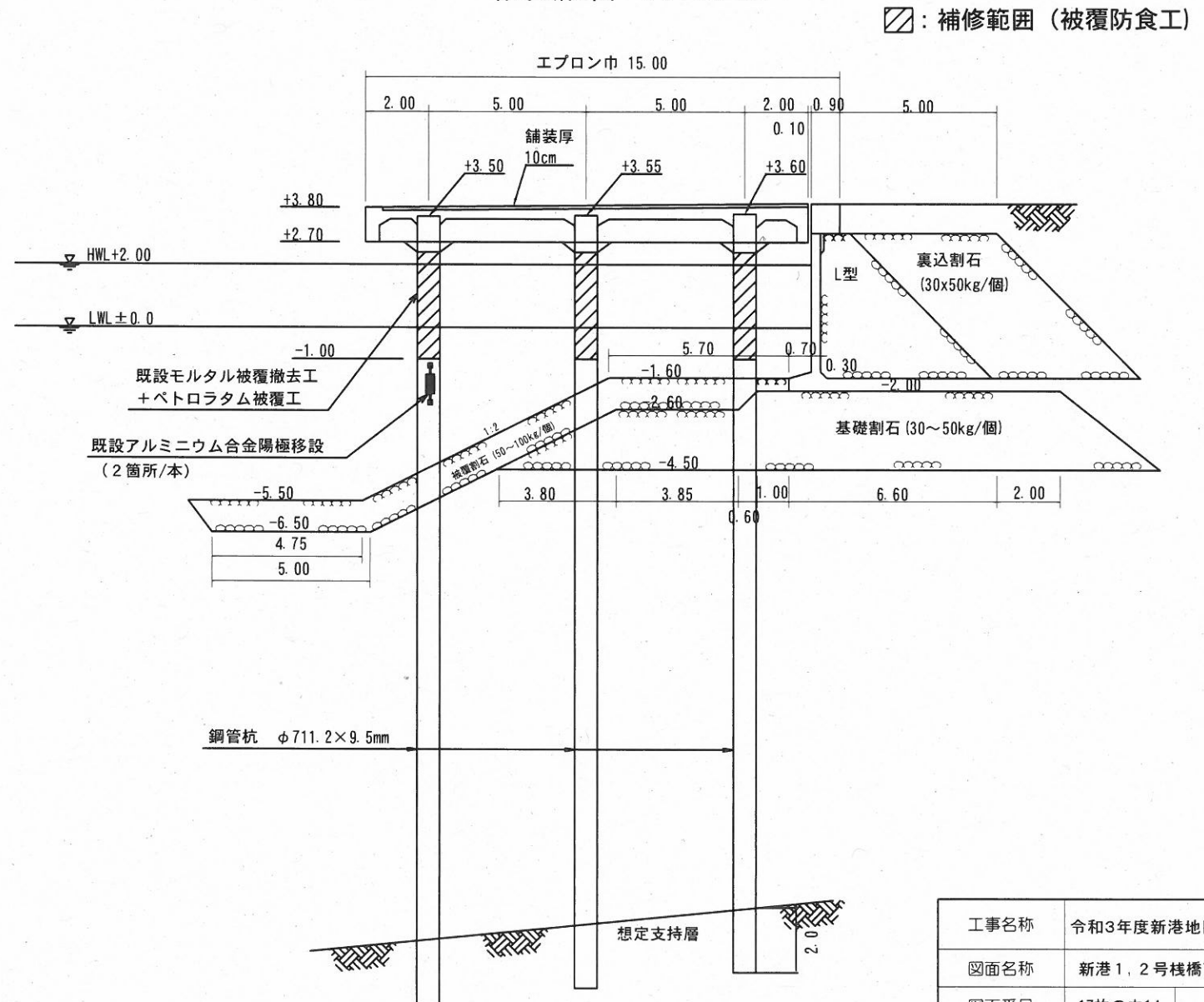
下部工(被覆防食部) 平面図 S=1:500 u:m



ペトロラタム被覆概要図 S=NONE



標準断面図 S=1:200 u:m

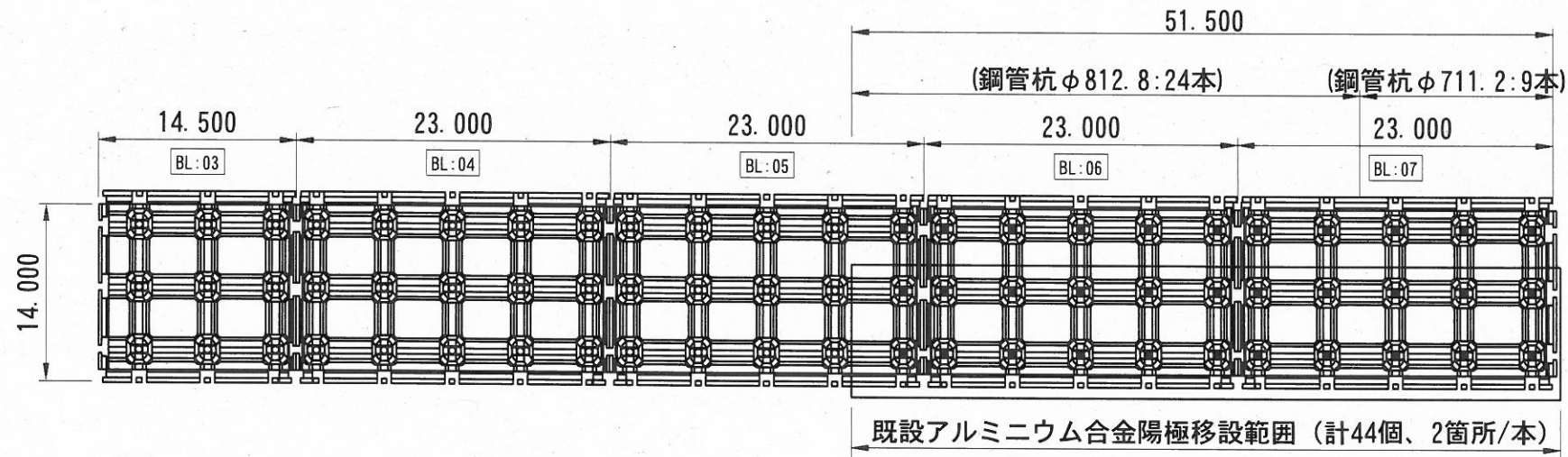


工種	単位	数量
モルタル被覆撤去	m ²	17.5
下地処理 (かき落とし)	m ²	249.1
被覆防食	m ²	249.1
端部処理	m	147.5
牡蠣殻処分	kg	361.2
既設アルミニウム合金陽極移設	個	22.0

工事名称	令和3年度新港地区新港2, 3号栈橋改良工事		
図面名称	新港1, 2号栈橋下部工(被覆防食部)補修図		
図面番号	17枚の内14	縮尺	図示

新港 3号棧橋下部工 (被覆防食部) 補修図

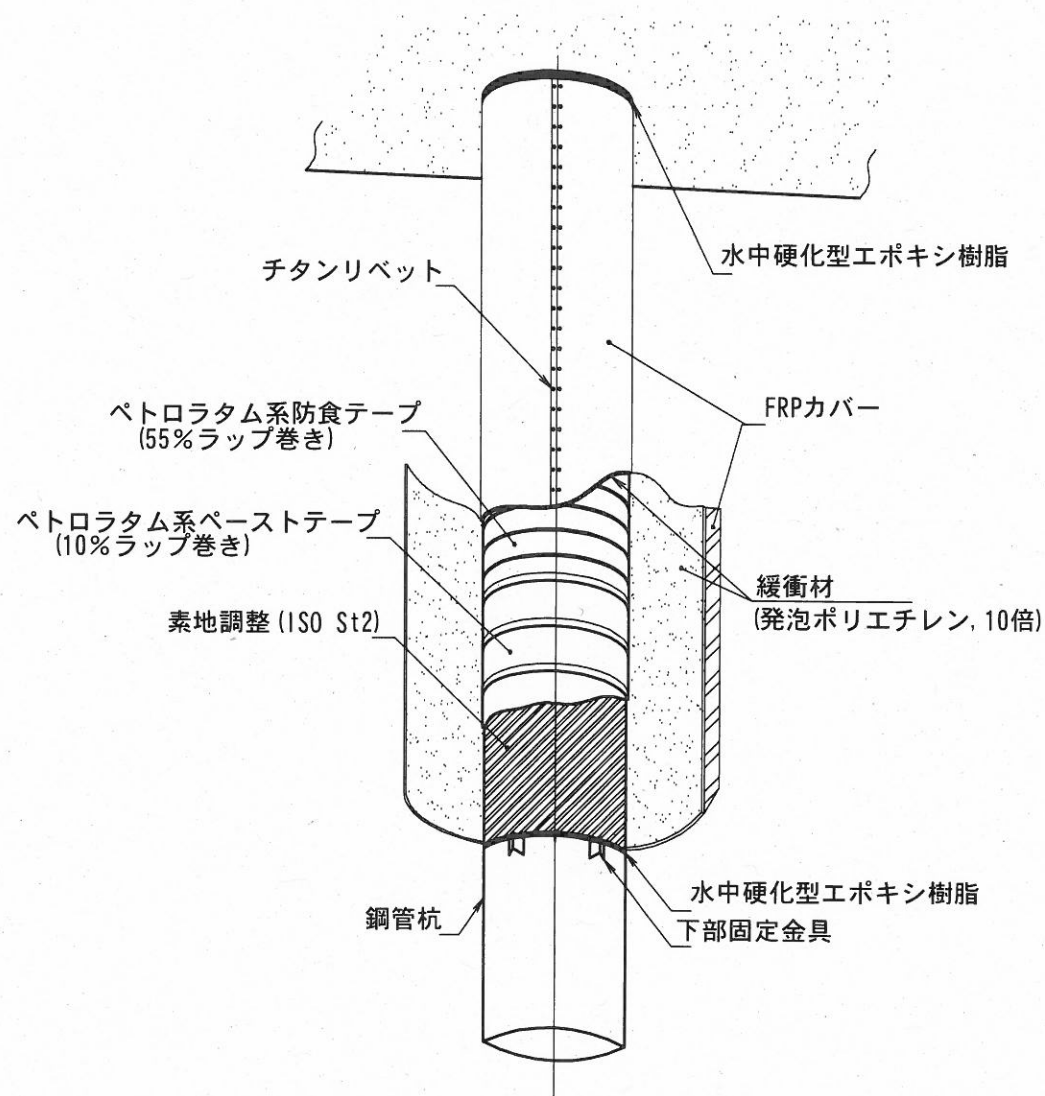
下部工 (被覆防食部) 平面図 S=1:500 u:m



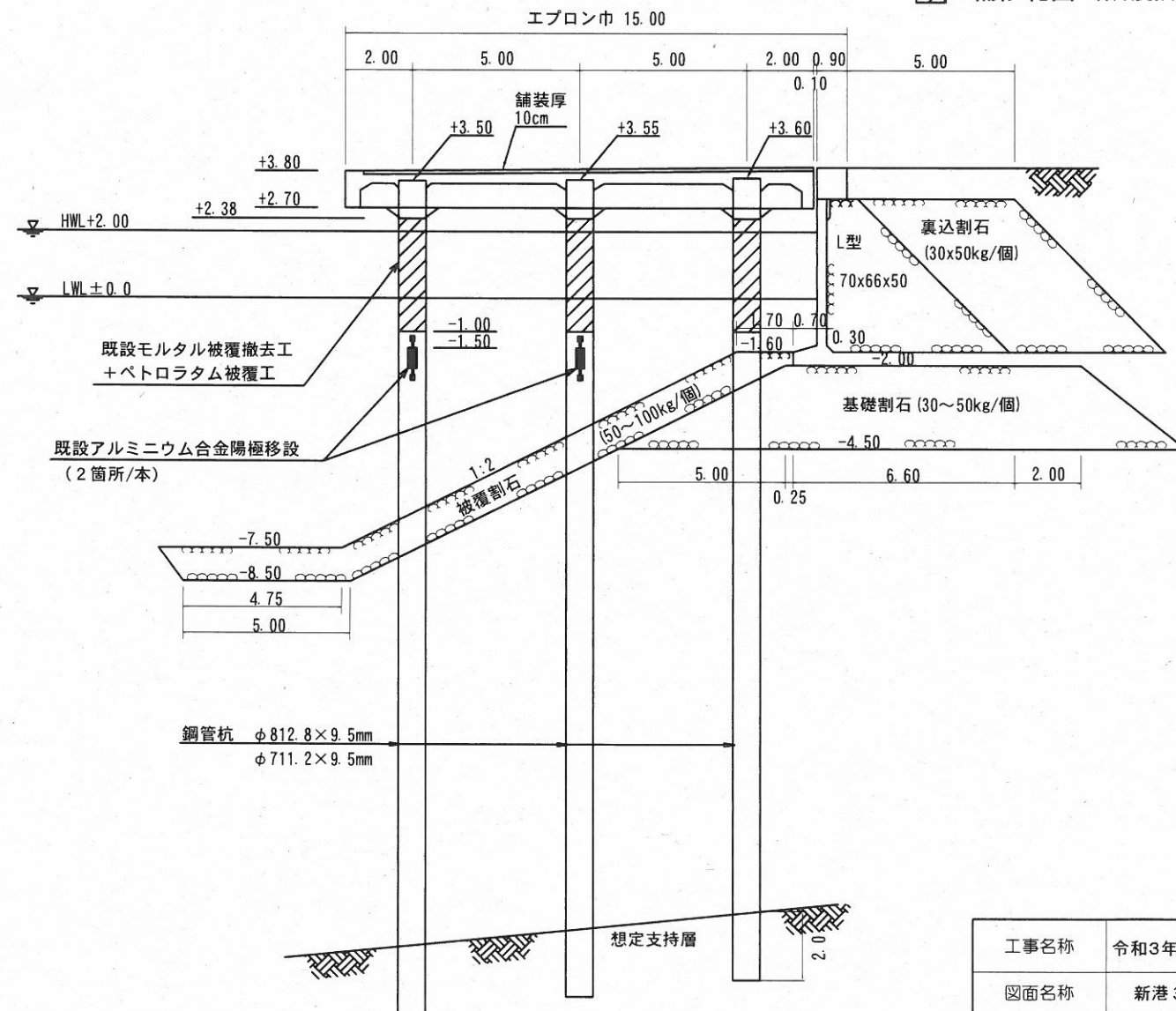
■ : 補修範囲 (被覆防食工)

工種	単位	数量
モルタル被覆撤去	m ²	19.3
下地処理 (かき落とし)	m ²	275.0
被覆防食	m ²	275.0
端部処理	m	162.6
牡蠣殻処分	kg	398.8
既設アルミニウム合金陽極移設	個	44.0

ペトロラタム被覆概要図 S=NONE



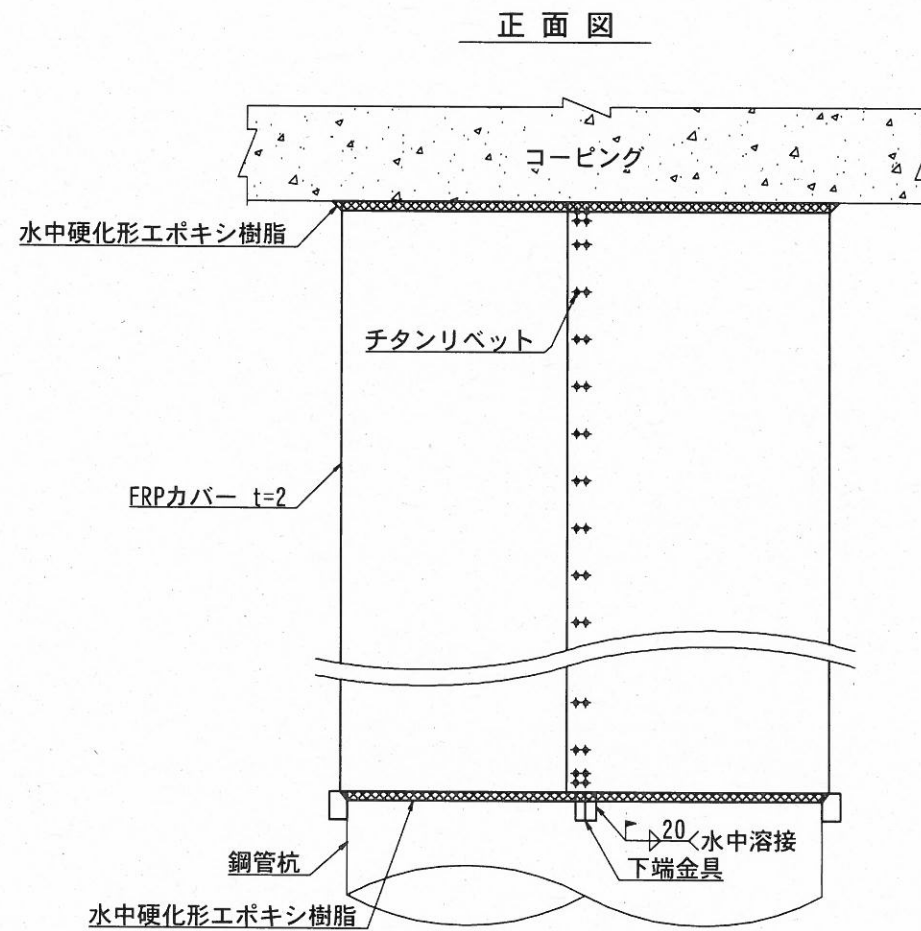
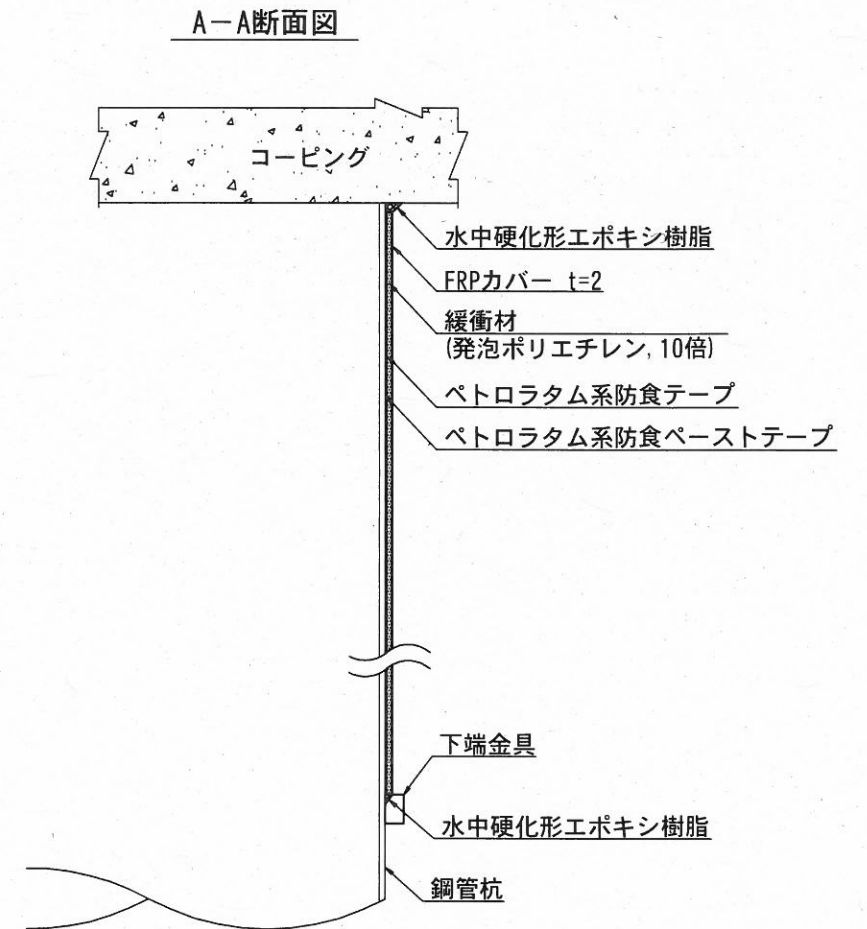
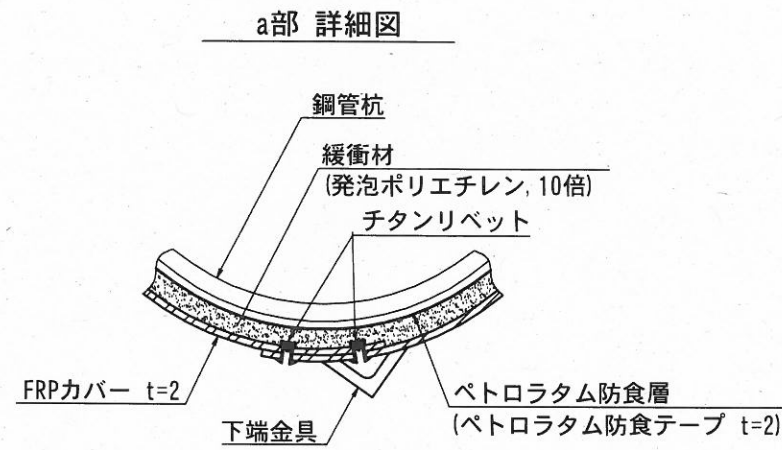
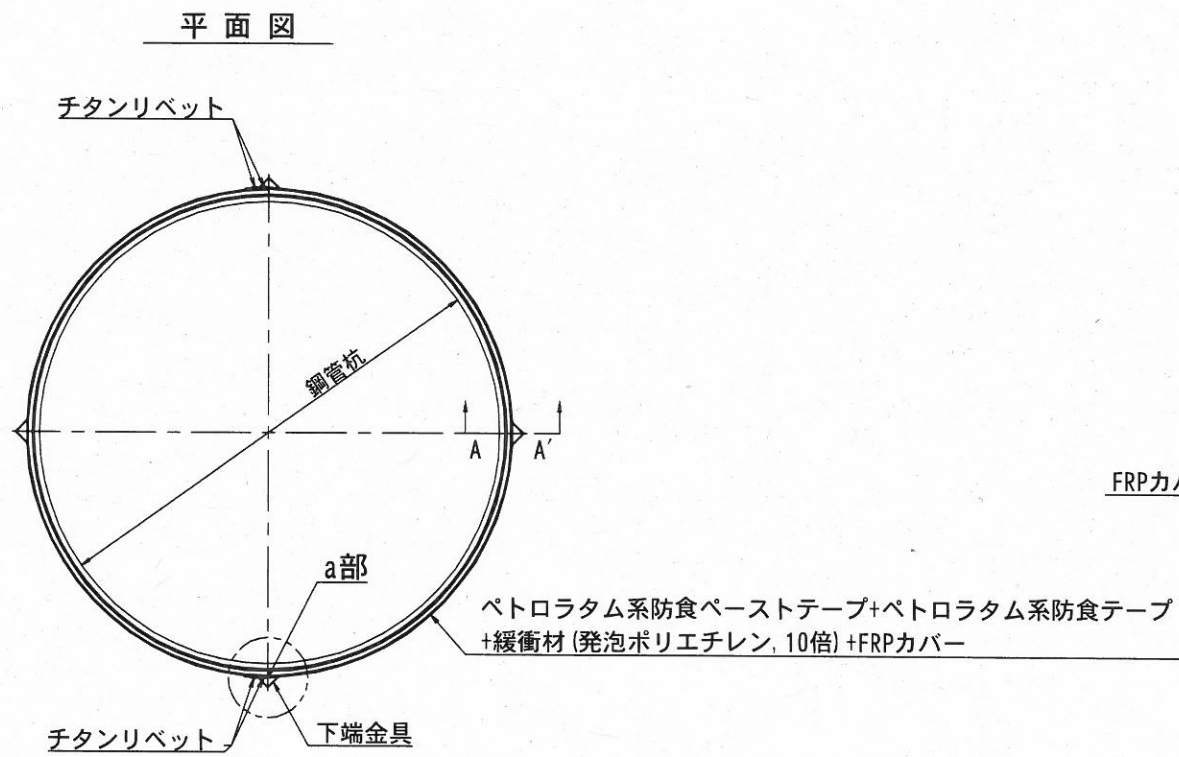
標準断面図 S=1:200 u:m



▨ : 補修範囲 (被覆防食工)

工事名称	令和3年度新港地区新港2, 3号棧橋改良工事		
図面名称	新港 3号棧橋下部工 (被覆防食部) 補修図		
図面番号	17枚の内15	縮尺	図示

ペトロラタム被覆標準図 S=NONE



被覆仕様

単位: mm

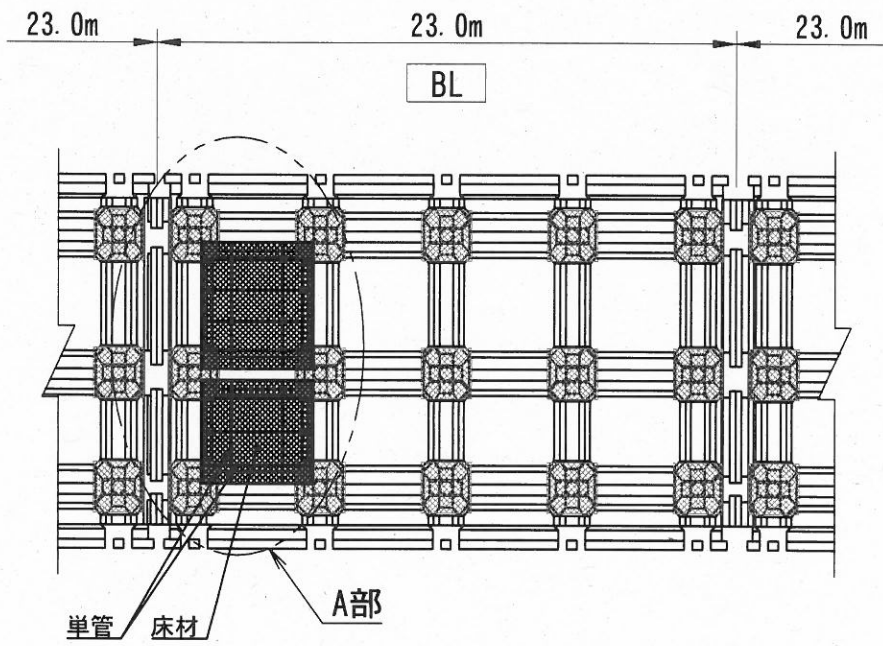
項目	名称	材質	規格・形状
素地調整	-	-	ISO St 2 以上
締結金具	リベット	チタン	リベット径 4.0
防食材	ペーストテープ	ペトロラタム系	JIS Z1903相当 t1 10%ラップ
	防食テープ		JIS Z1902 t1.1 50~55%ラップ (×2)
保護材	保護カバー	FRP	鋼管杭用 t2
	緩衝材	発泡ポリエチレン	t10
下端金具	下部固定金具	SS400	L-40×40×t5×50L
シール材	端部処理	水中硬化形エポキシ樹脂	二液硬化型(主剤+硬化剤) 1Kg/m

注) 保護カバーの色調については指定色とする。

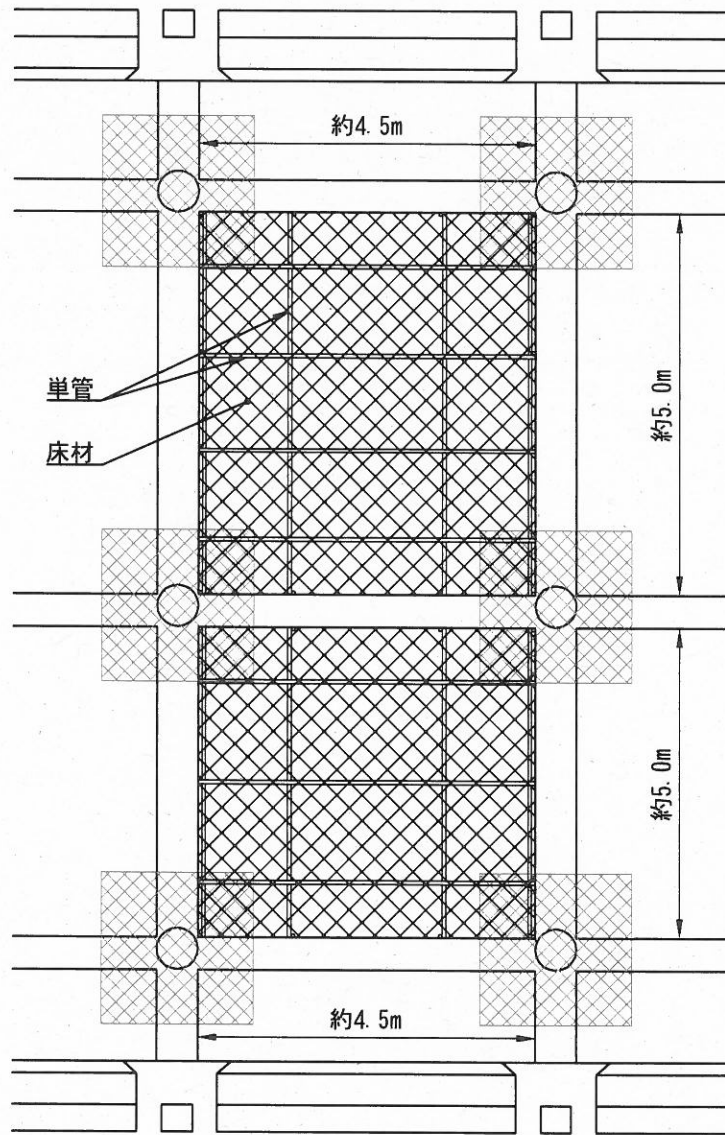
工事名称	令和3年度新港地区新港2, 3号棧橋改良工事		
図面名称	ペトロラタム被覆標準図		
図面番号	17枚の内16	縮尺	NONE

仮設足場 (断面修復工/被覆防食工) 参考図

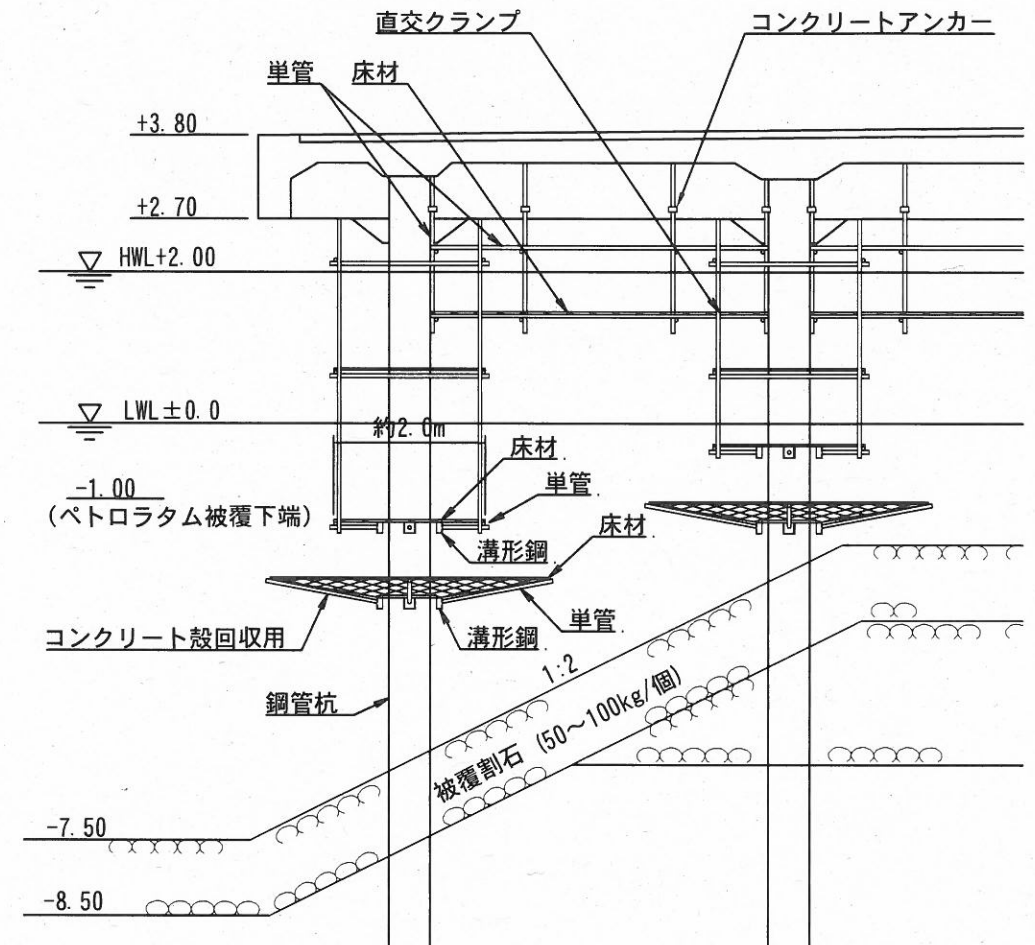
平面図 S=1:300



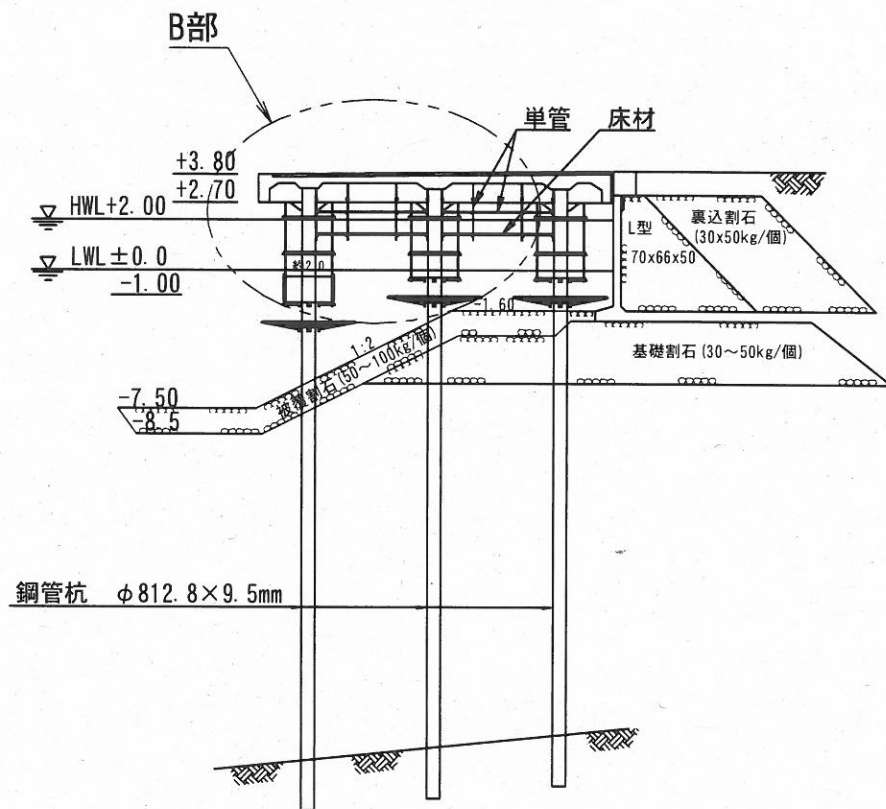
A部 詳細 S=1:100



B部 詳細 S=1:100

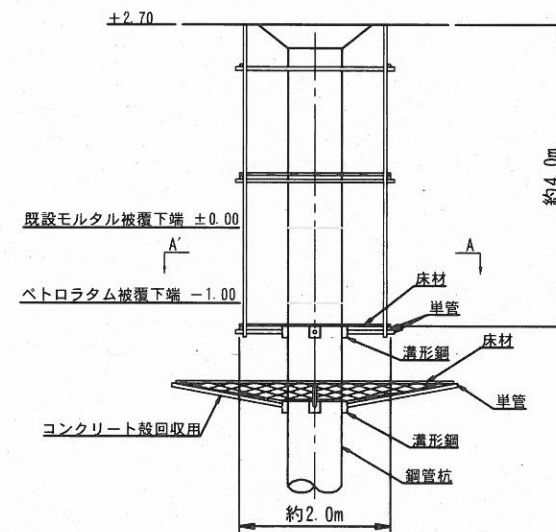


断面図 S=1:300

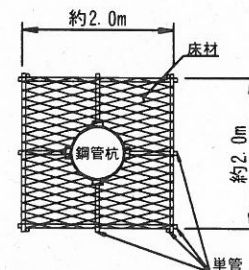


仮設足場参考図 S=1:100

(正面図)



(平面図 A-A')



工種	単位	数量
仮設足場	m ²	1,421.0

工事名称	令和3年度新港地区新港2,3号棧橋改良工事
図面名称	仮設足場 (断面修復工/被覆防食工) 参考図
図面番号	17枚の内17 縮尺 図示